

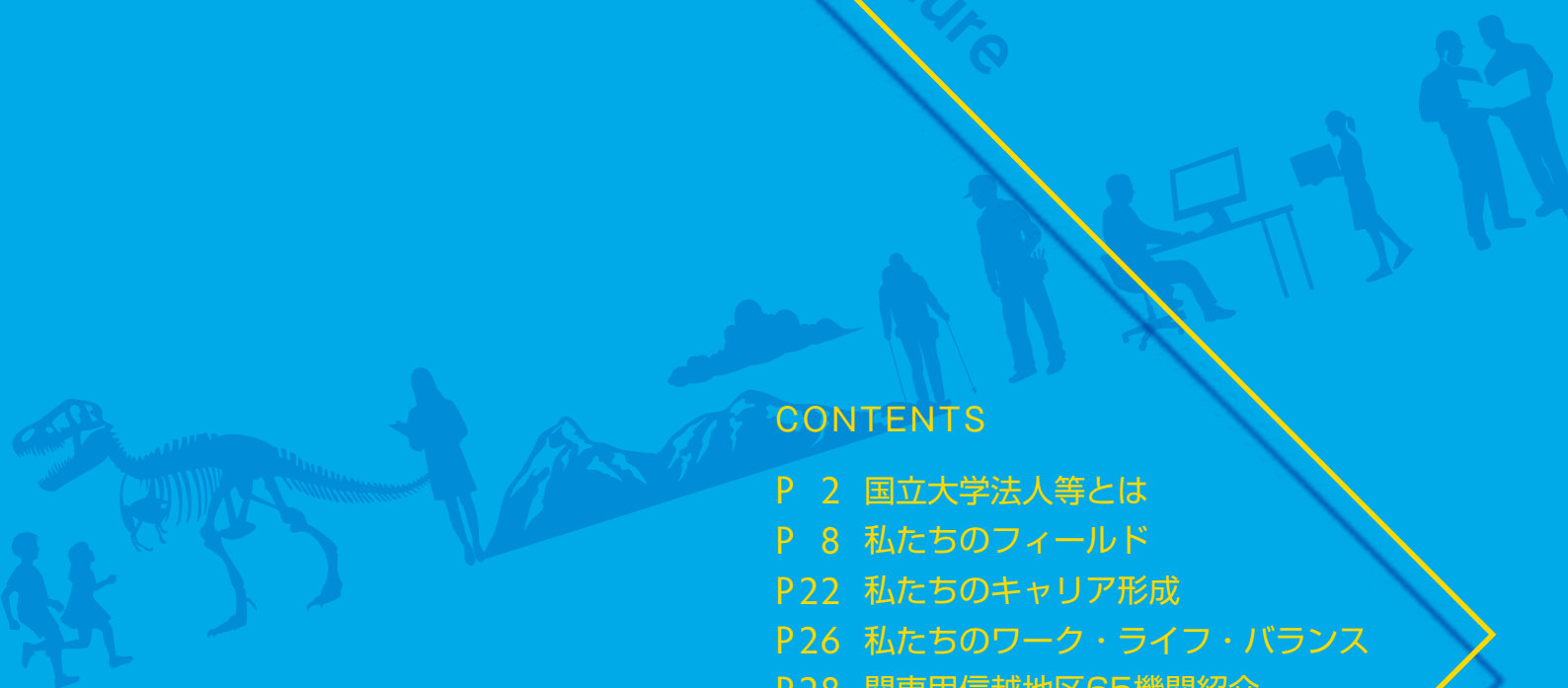
みらいをひらく

関東甲信越地区
国立大学法人等
仕事紹介ガイドブック
2021

Develop the future

CONTENTS

- P 2 国立大学法人等とは
- P 8 私たちのフィールド
- P22 私たちのキャリア形成
- P26 私たちのワーク・ライフ・バランス
- P28 関東甲信越地区65機関紹介



国立大学法人等とは

国立大学法人等は、教育、研究、地域貢献・国際貢献、文化・芸術振興を通じて、社会の発展に寄与するという公共的な役割を担っています。

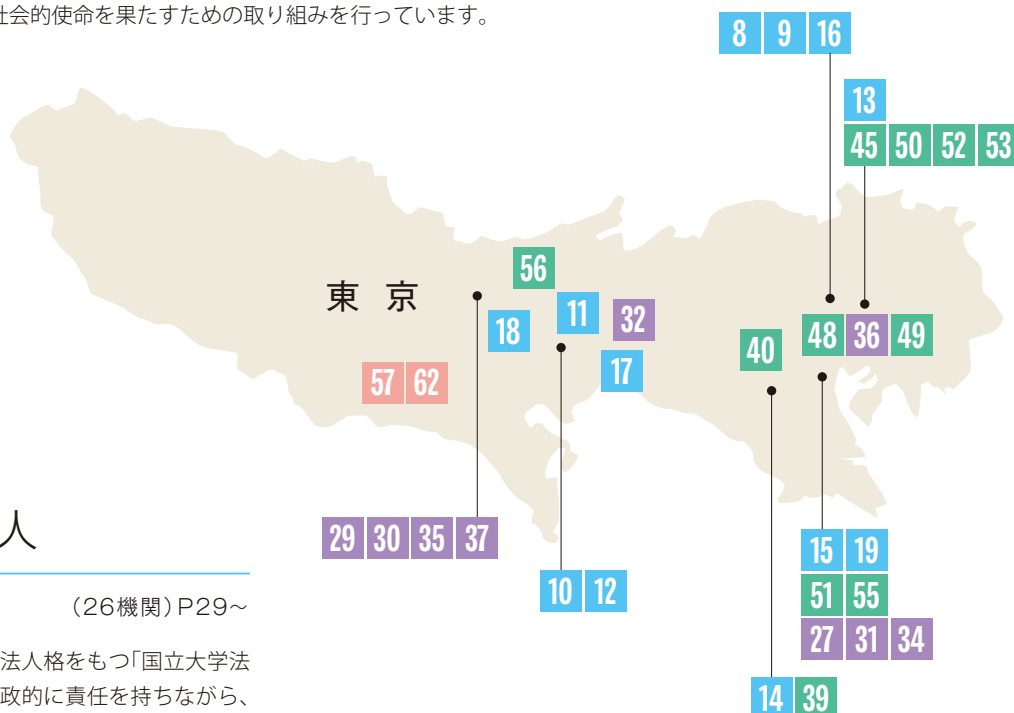
各機関は個性と特色を発揮し、社会的使命を果たすための取り組みを行っています。

国立大学法人

(26機関) P29～

各国立大学は独立した法人格をもつ「国立大学法人」となりました。国が財政的に責任を持ちながら、自主・自律という大学の特性を活かした運営ができる新しいスタイルです。学術研究の一層の活性化はもとより、教育機能の強化や学生サービスの改善、あるいは、産学連携や地域貢献活動の充実などについて、それぞれの理念をより良く実現できるよう、自主性・自律性を生かした積極的な運営に取り組んでいます。

- | | |
|------------|--------------|
| 1 茨城大学 | 14 東京工業大学 |
| 2 筑波大学 | 15 東京海洋大学 |
| 3 筑波技術大学 | 16 お茶の水女子大学 |
| 4 宇都宮大学 | 17 電気通信大学 |
| 5 群馬大学 | 18 一橋大学 |
| 6 埼玉大学 | 19 政策研究大学院大学 |
| 7 千葉大学 | 20 横浜国立大学 |
| 8 東京大学 | 21 総合研究大学院大学 |
| 9 東京医科歯科大学 | 22 新潟大学 |
| 10 東京外国語大学 | 23 長岡技術科学大学 |
| 11 東京学芸大学 | 24 上越教育大学 |
| 12 東京農工大学 | 25 山梨大学 |
| 13 東京藝術大学 | 26 信州大学 |



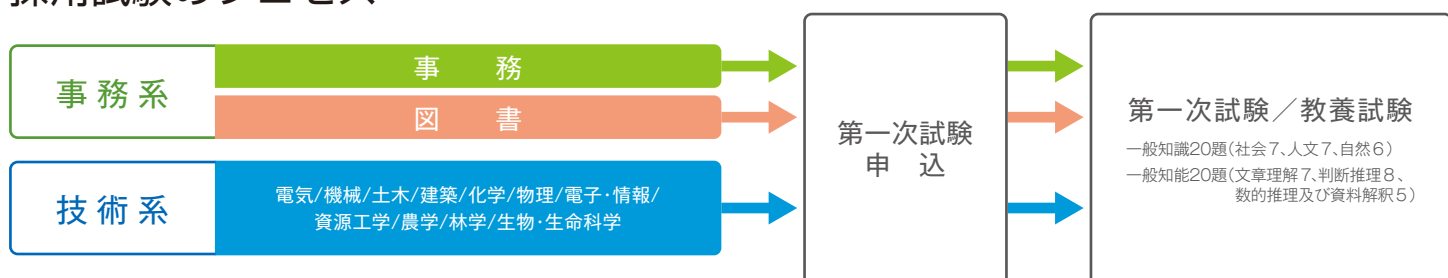
大学共同利用機関法人

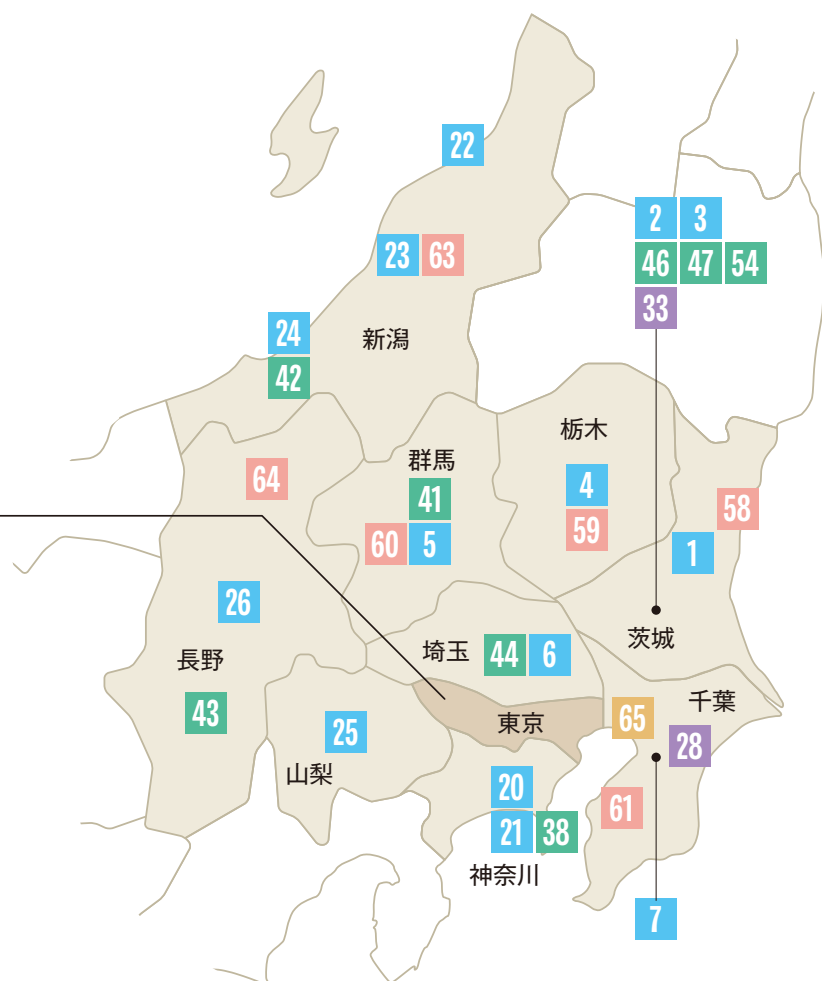
(11機関) P33～

大学共同利用機関は、法人化を契機に4つの機構に再編されました。各機構が設置した我が国を代表する中核的研究拠点である大学共同利用機関は、全国の大学の関連研究者のニーズに応え、海外の研究者とも連携を図りながら、最先端の研究領域において大型の実験観測施設・装置を開発し、貴重な学術情報・資料を集積し、これらの共同利用により効果的・先端的な共同研究を推進し、大学院教育や高度な研究者の育成に取り組んでいます。

- | | |
|----------------|------------------|
| 27 人間文化研究機構事務局 | 33 高エネルギー加速器研究機構 |
| 28 国立歴史民俗博物館 | 34 情報・システム研究機構 |
| 29 国文学研究資料館 | 35 国立極地研究所 |
| 30 国立国語研究所 | 36 国立情報学研究所 |
| 31 自然科学研究機構事務局 | 37 統計数理研究所 |
| 32 国立天文台 | |

採用試験のプロセス





独立行政法人 国立高等専門学校機構

(8機関) P38～

国立高等専門学校(高専)は、社会が必要とする実践的技術者を養成するため、中学校卒業生を受け入れ、5年間の一貫教育を行う高等教育機関として、全国に51校、設置されています。それぞれの高専が、自主・自律的に改革に取り組み、社会経済環境の変化に積極的に対応するとともに、高専機構という1つの法人として、スケールメリットを活かした戦略的・効率的な運営を行っています。

- 57 国立高等専門学校機構本部事務局
- 58 茨城工業高等専門学校
- 59 小山工業高等専門学校
- 60 群馬工業高等専門学校
- 61 木更津工業高等専門学校
- 62 東京工業高等専門学校
- 63 長岡工業高等専門学校
- 64 長野工業高等専門学校

独立行政法人

(19機関) P35～

国が直接行っていた公共的な事務・事業について、計画的・効率的な運営を行うことで、より良い行政サービスを提供しています。

- | | |
|------------------|------------------|
| 38 国立特別支援教育総合研究所 | 48 東京国立近代美術館 |
| 39 大学入試センター | 49 国立映画アーカイブ |
| 40 国立青少年教育振興機構 | 50 国立西洋美術館 |
| 41 国立赤城青少年交流の家 | 51 国立新美術館 |
| 42 国立妙高青少年自然の家 | 52 東京国立博物館 |
| 43 国立信州高速青少年自然の家 | 53 東京文化財研究所 |
| 44 国立女性教育会館 | 54 教職員支援機構 |
| 45 国立科学博物館 | 55 日本スポーツ振興センター |
| 46 物質・材料研究機構 | 56 大学改革支援・学位授与機構 |
| 47 防災科学技術研究所 | |

特別な学校法人

(1機関) P39

法律に基づく特別な学校法人である放送大学学園が設置する大学です。

- 65 放送大学学園





関東甲信越地区国立大学法人等
職員採用試験実施委員会委員長

里見 朋香
サトミ トモカ

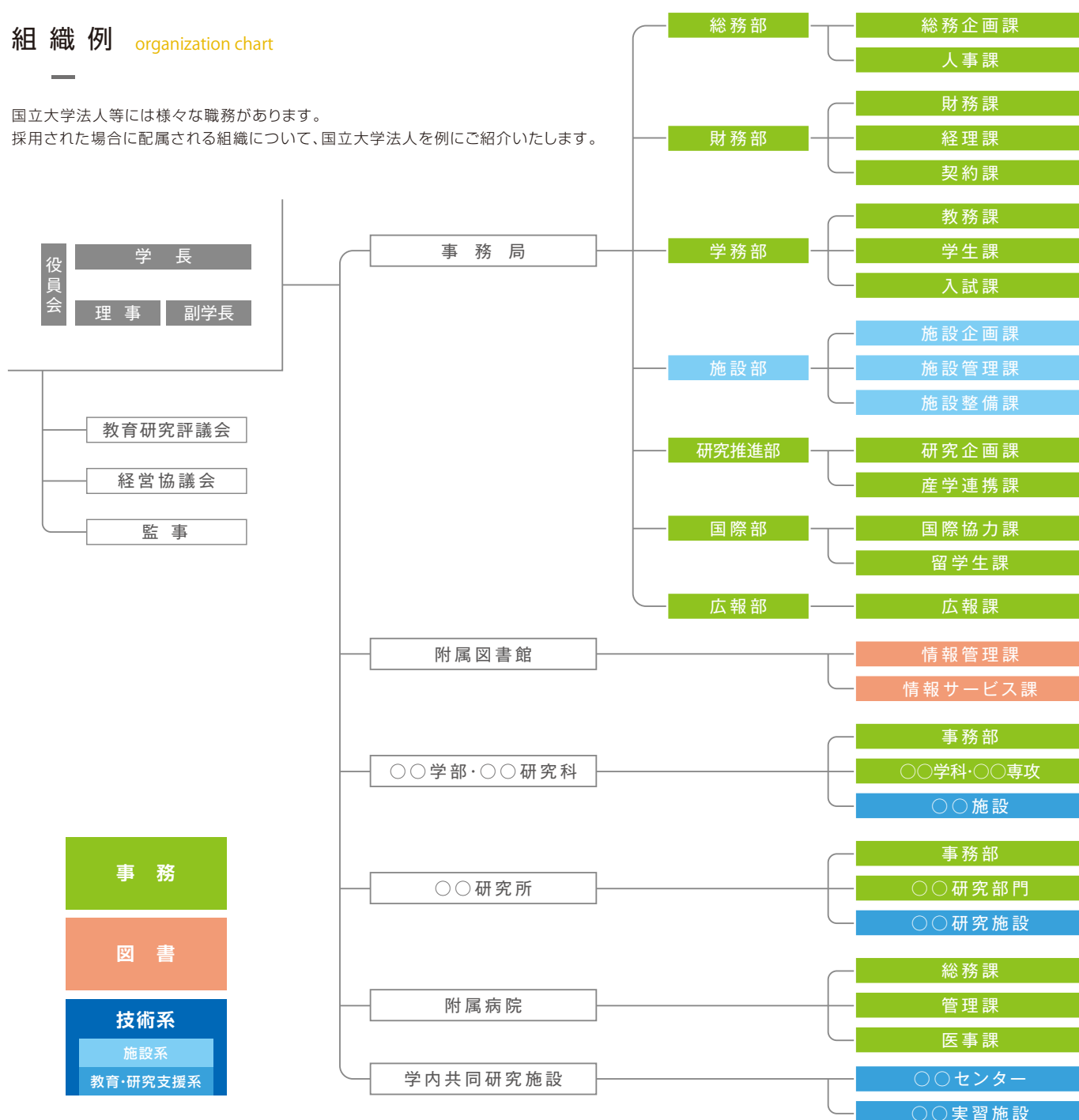
新型コロナウイルス感染症の拡大は、国立大学法人等にもさまざまな影響を与えています。そのような中で私たちは、教育や研究、地域・国際貢献、文化・芸術の支援がどれだけ国民生活に不可欠なものであるか身に染みて感じています。そしてオンライン教育、感染症の治療や感染拡大を防止する研究・技術の開発、そして文化芸術といった、今社会に真に必要とされている活動が継続できるよう、誇りを持って業務に取り組んでいます。

関東甲信越地区の国立大学法人等職員採用試験は、65機関合同で実施しています。国立大学法人(26機関)は、世界的な研究教育大学、専門人材を育成する大学、学生・研究者との距離が近い大学、地域との連携が盛んな大学など多様な個性を持ち、大学共同利用機関法人(11機関)は、大学の枠組みを超えた研究分野ごとのナショナルセンターとなっています。独立行政法人(19機関)は、青少年・女性教育、特別支援教育、教職員・大学支援、大学入試等を支える機関から博物館・美術館、研究所まであり、幅広い公的分野を牽引しています。国立高等専門学校機構(8機関)は、国内に実践の技術者を輩出するだけでなく、世界のKOSENとして活動の幅を広げています。そして、放送大学学園は、放送を利用する全国唯一の大学として人生100年時代の生涯学習を支えています。

私たちは、こうした公共的な役割を踏まえ、それぞれが未来に向かって特色ある活動を展開しています。必要な職種も多岐にわたります。多様な資質、能力、経験、個性そして「志」を生かすことのできる、創造的で充実した仕事が皆さんを待っています。

組織例 organization chart

国立大学法人等には様々な職務があります。
採用された場合に配属される組織について、国立大学法人を例にご紹介いたします。



国立大学法人等のミッション

our mission

教育

高度な専門教育と多彩な
教養教育を通じて、
次世代を担い、
多様な分野で活躍する
人材を育成します。

研究

基礎的・基盤的研究から
独創的な応用研究まで、
各機関の強みや特性を
生かした研究を行い、
人類の発展を支えます。

地域貢献・国際貢献

地域の医療機関、
自治体、国内外の
教育研究機関と連携し、
地域振興や国際貢献活動の
中核的機能を果たします。

文化・芸術振興

貴重な芸術作品や
標本資料等の収集、保管、展示、
調査研究を行うことにより、
先人たちの残した貴重な
財産を将来世代に伝えます。

勤務条件・福利厚生

working conditions & welfare

職員一人ひとりが安心して職務に専念できるよう、各機関は勤務環境の充実を図っています。

勤務条件（代表例）

勤務時間	原則として1日7時間45分（週38時間45分）となります。
休日	土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12/29～1/3）となります。
主な休暇 休業等	年次休暇：年間20日（初年は採用時期により異なります。4月採用は15日） 残日数は20日を限度として翌年に繰り越されます。 （付与日数と繰り越しを合わせて年間で最大40日） 特別休暇：夏季休暇、結婚休暇、産前産後休暇、ボランティア休暇、忌引き等 病気休暇：病気やけがの療養のため、必要と認められる期間 育児休業：子供が3歳になるまでの間、男女問わず利用できます。ほかに、 部分休業や短時間勤務制度もあります。 介護休業：配偶者、父母、子等が介護を必要とする場合に利用できます。
給与・手当	初任給は約18万円～22万円程度となります。学歴や採用前の職歴に応じ、決定します。 手当は、通勤手当、住居手当、扶養手当、時間外勤務手当、期末・勤勉手当 （いわゆるボーナス。6月と12月の年2回支給）等があります。 昇給：原則年1回（1年間の勤務成績に応じて昇給します。）

福利厚生

健康保険 年金等	文部科学省共済組合等に加入します。
健康管理	各機関では、健康診断の実施、人間ドックの助成を行っています。
宿 舎	単身者用・世帯用の住宅を設置している機関もあります。
レクリエーション	機関内・他機関との交流のため、 スポーツ大会やサークル活動などが行われています。
施設の利用	各機関の所有する体育館、グラウンド、テニスコート等の 各種施設や附属図書館を利用できます。

※法人化により、職員の身分は「非公務員型」の法人職員となりました。
※各機関ごと、就業規則等により異なります。

研修制度

training system

自ら学ぶ意欲のある職員を支援する
環境を整備しています。

階層別 研修	目的別 研修	自己啓発 支援
-----------	-----------	------------

→ P25 参照

ジョブローテーション

job rotation

人材の育成を目的として、
約2～3年を目安に人事異動を行い、
各業務部門を幅広く経験します。

→ P6.7 参照

人事交流

personal exchange

幅広い視野を持った人材を育成するため
に、約1～3年の期間を定め、他機関での
勤務や、文部科学省等への研修派遣も行
っています。

※地方自治体や私立大学、民間企業等で勤務をする場合
があります。

→ P25 参照

学生支援

学生の入学から卒業までを
学業面、生活面から支援します。



- ▶ 学籍管理、修学指導、成績データの処理
- ▶ 奨学金、授業料免除、学生の健康管理、生活指導
- ▶ 就職サポート
- ▶ 大学入試共通テスト・個別学力試験の実施

→P8.9

広報・社会連携

機関の教育研究活動の内容やその成果を
社会に発信する役割を担います。



- ▶ 広報活動の企画・立案・実施
- ▶ 情報公開に関する業務
- ▶ 地域貢献活動（公開講座、出前授業等）の企画・実施

→P10

研究支援

研究の助成、産学官連携の推進を
支援します。



- ▶ 受託研究・民間との共同研究等の外部資金受入
- ▶ 知的財産の管理
- ▶ 寄附講座・寄附研究部門の設置・運営
- ▶ 地域研究拠点の運営・推進

→P14

業 務 内 容

business content

各機関では、企画や運営に関わる仕事、
学生や研究を支援する仕事、専門知識
を活かす仕事など、人事異動により幅
広い業務を経験し、多彩なフィールド
で活躍することができます。あなたの
活躍するフィールドはどれでしょう？

※なお、上記の業務内容は、国立大学等の代表的なものであり、
機関の設置目的や規模、事業内容等により異なります。

財 務

組織運営に必要な財務上の
計画や管理を行います。



- ▶ 組織運営に必要な予算の要求・執行
- ▶ 各種物品の契約・購入・管理
- ▶ 授業料・検定料・入学金等の収入金の出納

→P17

図 書

教育・研究のための学術情報の提供を行います。

※司書の資格は必要ありませんが、
図書館学概論等の専門的知識が必要です。



- ▶ 図書の貸出・返却、利用案内
- ▶ 図書雑誌の購入・受入・分類・目録作成
- ▶ 他機関との相互利用に関する業務
- ▶ 利用者の情報リテラシー教育

→P18

企画・評価

機関を発展させるための
企画・立案を担います。



- ▶ 将来計画、大学改革
- ▶ 中期目標、中期計画、年度計画
- ▶ 大学経営の企画・評価（外部評価、自己点検評価）
- ▶ 業務改善推進

→P12

国際交流

海外との学术交流・学生交流の
推進を支援します。



- ▶ 海外の大学・研究機関等との学术交流事業
- ▶ 外国人研究員等の受入、教職員の海外派遣
- ▶ 留学生の受入、学生の留学支援
- ▶ 地域社会と留学生の交流事業

→P13

医療支援

高度先進医療を担う附属病院の
管理運営業務を行います。



- ▶ 外来患者の受付、入退院の手続、医療情報の管理
- ▶ 診察・入院料金の計算・収納
- ▶ 地域連携医療、災害医療支援、病院再開発計画の策定
- ▶ 病院経営にかかる情報の収集・分析

→P15

総務・人事

事務全般を総括し、機関や教職員を支えるための
幅広い業務を行います。



- ▶ 教授会・評議会等の会議運営
- ▶ 入学式・卒業式等の式典運営
- ▶ 規則の制定・改廃
- ▶ 教職員の採用・昇任・異動・給与・研修・福利厚生

→P16

教育・研究支援系

専門知識を活かし、技術面から
教育・研究活動を支援します。



- ▶ データ解析、計測・観測技術の開発、試料作製
- ▶ 学生の実験等の技術支援・助言
- ▶ 研究・実験機器等の設計・開発・維持・管理
- ▶ ネットワーク・システムの管理・運営
- ▶ 電子計算機利用の知識・技術の普及

→P19

施設系

キャンパス内の多種多様な施設に関する
計画、施工から保全等の業務を行います。



- ▶ キャンパスマスタープラン作成
- ▶ 新築・耐震改修等の計画・調査・設計・積算・検査
- ▶ 工事の発注、工事現場監理
- ▶ 省エネルギー対策の策定

→P20

私たちのフィールド > 事務

学生支援

1日ひとつだけ、強くなる。



長岡工業高等専門学校 学生課学生係 係員

令和元年度採用

吉田 浩之
ヨシダ ヒロユキ

Q 1 現在の仕事内容について

課外活動や学校行事の支援、アルバイトや車両通学等の各種申請の受付など、教務関係以外の学生生活全般に関わる業務を行っています。その中でも私は主に授業料等免除や日本学生支援機構の奨学金など学生の経済支援に関わる業務を担当しています。授業料等の学納金に関わることは、財務系の部署と連携をとりながら仕事を進めます。

Q 2 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

学生と直接接する機会が多いため、業務を通じて学生の役に立てた！ということが目に見えて実感できるところが学生支援系の魅力だと思います。自分が関わった学生が大会や学会で賞を取ったり、新聞の記事などに掲載されているのを目にすると、自分のことのように嬉しく思えます。

Q 3 なぜ国立大学法人等職員を選んだのですか

高等教育、研究機関等のアカデミックな場を通じて社会貢献をしたいと思っていたからです。以前は民間企業でエンジニアとしてものづくりに携わっていましたが、立場が変われど、日本のものづくりの発展に貢献したいという思いもあり、技術者の養成に特化した高専を選びました。

8:30	出勤	自転車通勤しています。高専までの道は上り坂なので、毎朝良い運動になります。
随時	窓口対応	学生からの各種申請の受付、鍵や物品の貸し出し等の対応をします。
12:15	昼食	デスクで持参したお弁当を食べ、余った時間は昼寝をして午後の業務に備えます。
13:00	各種資料作成	各種奨学金の案内や文部科学省からの調査に対する回答を作成します。
16:00	委員会	学生の厚生補導に係る委員会に陪席します。奨学金や授業料免除に関連する議題では、用意した資料に基づき委員の先生に説明をします。
17:00	退勤	学生課の窓口を閉めて退勤します。

全体と個、 バランスを考えて。

学生支援

Q 1 現在の仕事内容について

音楽学部において、学生支援関係業務と入試業務を行っております。学生支援業務ではおもに、奨学金の受付・処理、授業料免除徴収猶予申請の受付、チューターの手続き、学園祭での対応といったことを行っております。入試業務では、出願書類の処理や入試当日に必要な書類・物品の準備といった、入試を実施する上で必要なサポートをしています。

Q 2 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

学生や先生から音楽に関する知識や雑学を教えてもらえるのがおもしろく、魅力的です。直接対応するので学生の活気を受けやすい反面、日々様々な対応を求められますが、その分やりがいを感じます。時には臨機応変に、平等性が失われないようバランスを心がけています。

Q 3 なぜ国立大学法人等職員を選んだのですか

元々公務員を志望していたのですが、恩師より大学法人の試験も勧められ、受験することになりました。また学生時代に学園祭実行委員をやっていたこともあり、そのときに大学職員の方に大変お世話になっておりましたので、自分もそのように学生の活動を支援できたらと思い、志望いたしました。



東京藝術大学 音楽学部学生募集係 事務職員

平成28年度採用

加藤 春子
カトウ ハルコ

4月	奨学金・ 入学料授業料 免除申請受付	年度始まりに多くの奨学金が募集されますのでその受付処理と、 入学料・前期授業料免除の申請受付をします。
6～9月 初旬	藝祭(学園祭)	企画実施のための練習室確保や先生とのスケジュール調整、 物品貸出しなどの実行委員会支援
8～9月	修士入試	出願受付・入試準備、入試の実施
12～2月	奨学金処理	年度末に決定する学内奨学金の推薦依頼・処理。 約20種類もの奨学金があるので整理しながら行う必要があります。
1月～3月	博士・学部入試	出願受付・入試準備、入試の実施。作業量も多く、 1年の中で一番忙しい時期になります。

人事を尽くして天命を待つ。

広報

Q₁ 現在の仕事内容について

広報室では、広報サイト「HQウェブマガジン」の更新、大学ウェブサイトの管理・更新、大学概要等の作成、取材・撮影対応、SNS運用、プレスリリースなどを行っています。私は、「HQウェブマガジン」の更新をメインに担当しています。どんな記事を書けるか企画し、会議を開き、取材を調整します。年4回程度更新しています。

Q₂ 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

広報は大学の顔となる部分です。大学の特徴や魅力、現在の取り組みや今後の展望、何をどのようにアピールしていくか。アンテナを張り、適切な対応をとるのは難しいことではありますが、みんなで話し合い、様々な広報活動を行っていくことにやりがいを感じています。

Q₃ 休みの日の過ごし方を教えてください

今年は、長男の習い事(サッカー)の役員を引き受けているので、その予定が中心になっています。妹弟ももっぱら兄のサッカーにお付き合い。そしてもう一つ、休日の重要任務は、1週間分の食料の調達です。平日は買い物に行く時間がないので、どっさり買い込んでいます。



一橋大学 総務部広報室 広報係長

平成17年度採用

山口 麻衣
ヤマグチ マイ

9月中旬	HQ編集部会議 日程調整	年4回編集部会議を開きます。 会議の1カ月前くらいから日程調整を始めます。
10月	事前打ち合わせ	広報室でネタ出しをします。その後、編集長、委託している編集業者と事前打ち合わせを行い、案を固めます。
11月	HQ編集部会議	春更新の編集部会議は11月に開催。春にはウェブに公開した記事の中からピックアップし、冊子「年報HQ」も作成します。
11~12月	取材調整	編集部会議で決まった内容に基づき、取材の調整を行います。 外部の方に依頼するのは、少し緊張します。
1月~3月	記事確認	編集業者が取材・作成した記事について、誤字・脱字など文体や事実確認を行います。春はweb版と併せて冊子も同時進行で作成します。
3月	HQ公開	ウェブサイトに公開!1年の総まとめ、年報も完成です。

整理整頓。

社会連携



Q 1 現在の仕事内容について

大学の知的資源を地域社会に還元し、活性化に貢献することを目的として活動を行う社会連携センターの事務において、公開講座やサイエンスカフェ、調布少年少女発明クラブ、おもちゃの病院などといった子供から高齢者まで幅広い市民に向けたイベントの運営や、学外からのボランティア活動募集に対する窓口業務などに携わっています。

Q 2 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

職業をあくまで生活の糧と考える中で、仕事のやりがいというのは積極的には意識しないようにしていますが、大学が、本分である高等教育だけではなく、その知を活かし、学内外を問わず様々な立場や世代に応じた学びの場を供していることはとても誇らしいことと思っています。

Q 3 休みの日の過ごし方を教えてください

寝坊した余韻に浸りネットで美味しそうな昼飯処を見つけてふらりと出かけたついでにレコード屋を覗いて風情のある立ち呑み屋でもあれば少しいたでいて気持ちよく帰宅。大相撲観ながら作った適当な肴で独酌2次会からの寝床で映画で寝落ち。嗚呼、素晴らしき哉、いつぞやの休日!!

電気通信大学 総務部総務企画課
広報・基金・卒業生室基金・卒業生係 主任

平成23年度採用

君島 龍太郎
キミジマ リュウタロウ

5月	運営委員会①	センターが実施する公開講座等の様々な取組の年間実施計画などについて議論し、委員からアドバイスをいただきます。
7月	オープンキャンパス	オープンキャンパス(夏と秋の2回開催)に合わせて、子供工作教室、おもちゃの病院などの子供向けイベントを開催します。
8月	夏休みイベント	公開講座等のイベントは通年で開催してはいますが、7～8月の小学校等の夏休み期間は、特に子供向け講座が多数開講され賑わいます。
12月	次年度予算要求	次年度に実施する取組などを精査しながらセンターの運営に必要な経費を精算し、財務担当部署に要求を行います。
1月	運営委員会②	当年度の取組の実施状況や次年度の実施計画、また、社会活動での成果によって表彰の対象となる学生の推薦などについて議論します。
3月	次年度の準備	2～3月は、特に年単位で実施する次年度のイベント等の準備が多くなります。中には、40人の定員に対し10倍の参加申込みがあるものもあります。

私たちのフィールド > 事務

無事これ名馬。

企画・評価



お茶の水女子大学 企画戦略課(評価担当) 係員

平成29年度採用
柏谷 渡
カシワヤ ワタル

Q₁ 現在の仕事内容について

大学運営に関する中長期的な目標・計画の取りまとめや、文部科学省に提出する実績報告書、プレゼン資料の作成を行っています。また、教員の多岐にわたる教育研究活動の業績を収集するデータベースを管理し、大学や教員の評価、教育研究活動の更なる発展に役立てていくことが主な仕事です。

Q₂ 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

大学の事業計画の策定から、データ収集、実績報告書の作成までの一連の業務を通じて、大学の多様な取組を広い視野から見渡すことができる点が魅力です。そうした大学の多様な取組をいかにアピールしていくか想像し、社会に発信していく仕事は、とてもやりがいを感じます。

Q₃ 職場の雰囲気を教えてください

職場全体がアットホームな雰囲気で、同僚の先輩や周りのサポートを受けて伸び伸びと仕事に励むことができます。また、職員の多様なライフスタイルに即した働き方改革の取組が進んでおり、職員一人ひとりのワーク・ライフ・バランスを実現するための環境が整っています。

平成29年度採用

4～6月	実績報告書の作成	前年度の1年間に大学が実施した取組を実績報告書としてまとめ、文部科学省に提出します。
7～9月	文部科学省ヒアリング資料の作成	6月末に文部科学省に提出した実績報告書の概要をプレゼン資料としてまとめ、文部科学省によるヒアリング・評価を受けます。
9～12月	年度計画の進捗状況確認	理事・副学長とも連携しながら、当該年度の事業計画の進捗状況を確認し、中間評価を行います。
1～3月	次年度計画の作成	大学の中長期的な目標・計画を達成するために、大学が次年度に取り組む事業計画を策定し、文部科学省に提出します。
2～3月	教員業績データの収集	教員の教育研究活動に関する業績データを収集し、教員個人活動評価に活用します。

ゴールを正しく見極めれば、道は開ける。

国際交流

Q₁ 現在の仕事内容について

高等専門学校は、中学校を卒業した15歳から専門教育を行い、産業界で即戦力となる実践的技術者を育成する高等教育機関です。その独自性の高さから、近年は海外でもKOSENの名で認知されてきています。

現在タイにおいて、日本の高専と同等の質を有するKOSENの設立・運営支援を行う国家間プロジェクトが進行しています。現地へ日本の高専の教員が派遣されており、その業務支援を日本から行っています。

Q₂ 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

このプロジェクトは、契約期間10年、総額26億円と大規模で責任も重大ですが、その分やりがいもあります。また、組織としても初めての挑戦ですので、前例にとらわれず新たな価値を創造したり、日々試行錯誤しながら課題を解決していくことに、大きな魅力を感じています。

Q₃ 休みの日の過ごし方を教えてください

ONとOFFのスイッチを切り替えて仕事に集中するため、休みの日は仕事のことを気かけないようにしています。今年は新型コロナウイルスの影響で趣味の旅行が自由にできないのが辛いところですが、自宅で子供と遊ぶなどしてリフレッシュしています。



国立高等専門学校機構本部事務局
国際企画課海外展開係 係員

平成23年度採用

小道 健太郎
コミチ ケンタロウ

9:30	出勤	出勤後はメールのチェック。現地にいる派遣教員との細やかなやりとりが必要不可欠なので、チャットアプリも欠かさずチェックします。
11:00	二国間での会議を記録	現地タイ人教職員、派遣教員、日本にいる教職員間でのWeb会議で、書記を担当。英語で実施されることもあり、とにかく必死です。
12:15	昼休み	最近は節約のためもっぱら弁当持参ですが、たまには外食したくなることも…。
14:00	教員対応	派遣教員からの急な相談に対応。困りごとがあっても自分を頼ってくださいるので、快く、迅速な対応を心掛けています。
16:00	英語での文書作成	タイへ送る文書の案を英語で作成。上司や同僚に相談しながら、推敲を重ねます。
18:00	退勤	明日やるべきことを確認し、定時に退勤します。

探究心を 常に持ち続けること。

研究支援



人間文化研究機構国立国語研究所
管理部研究推進課研究支援グループ 一般職員

平成28年度採用

志村 咲紀
シムラ サキ

Q 1 現在の仕事内容について

科研費関係、共同研究関係、委託事業契約手続き、知的財産等の研究支援業務全般を担当しています。科研費関係業務では申請から実績報告まで、年間を通して様々な書類の作成依頼や提出時のチェックを行います。共同研究関係では共同研究員の先生方への委嘱状送付、知的財産関係では著作物の利用に関する許諾手続きを行っています。

Q 2 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

担当業務が多岐に渡る分、様々な知識を得られることがこの仕事の魅力です。頑張った分だけ自身の成長を実感できるとともに、蓄積した知識や経験を生かして問題を解決し、その結果として先生方からお礼の言葉を頂けたときに非常にやりがいを感じます。

Q 3 なぜ国立大学法人等職員を選んだのですか。

教育や研究に携わりたいと、研究者も視野に入れて進路に迷っていた時に国立大学法人等職員のことを知りました。研究をする側より支える側になるほうが自分には合うと思い導いた結論でしたが、今では職員として研究活動の一助となれることを嬉しく思います。

9:00	出 勤	出勤したらずくにメールを整理し、各種問い合わせに回答します。科研費のシーズンになると沢山のメールが届きます。
10:00	各種書類 チェック	先生方から提出のあった科研費関連書類の内容確認を行います。間違いの無いように上司とのダブルチェックは欠かせません。
12:15	昼 食	
13:00	書類チェック 委員会準備	研究倫理審査申請書を確認します。不備がある場合は差し戻しを行い、書類が整い次第研究倫理委員会の開催準備をします。
16:00	会議資料作成	所内会議に臨むため、共同研究員一覧を作成します。先生方から集めたリストを整理し、人数や関係機関の数などを細かく計上します。
17:30	退 勤	急ぎの案件が無ければ、定時で退勤します。

迷ったらやる。

医療支援

Q₁ 現在の仕事内容について

医学部附属病院に所属する研修医の研修プログラム管理・運営や採用活動を中心に、毎月1回実施される病院職員研修の運営など病院の教育に関する仕事を行っています。イベントの企画や運営を行うことも多く、デスクでの仕事だけではなく、体を動かして行う仕事も多いことも特徴です。

Q₂ 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

既存のものに囚われることなく、常に新しいことに挑戦させてもらえることが最大の魅力です。また、医師としてのスタートを切った研修医の研修のサポートをすることで、未来の日本の医療に貢献している実感も得ることが出来ます。

Q₃ 休みの日の過ごし方を教えてください

休みの日は大学時代から続けているトライアスロンの練習を行って過ごすことが多いです。職場にもスポーツが好きな人が多いので、一緒にジムに行くこともあり、高めあい、楽しみながら練習を行っています。



東京医科歯科大学 医学部附属病院
事務部総務課総合教育研修係 一般職員

平成30年度採用

新名 亮太
シンミョウ リョウタ

4月	オリエンテーション・プログラム申請	新規採用研修医を迎え、不安なく研修のスタートを切れるサポートをします。また、翌年度開始研修医のプログラム内容を申請します。
5・6月	説明会などの広報活動	年間を通して広報活動は行っていますが、最も活発に実施する時期です。反響が最も大きい時期のため、最新の動向を注視しながら広報します。
7～9月	採用試験	翌年度から始まるプログラムの採用試験を行います。広報活動の集大成であり、入念な準備をして実施します。
10・11月	ホームカミングデー	内定者、研修医、300名以上を集め、研修医同士の繋がりを作る大きなイベントを実施します。コロナ禍での実施には、特別な配慮・措置の検討が必要です。
12～2月	採用準備	翌年度の研修の調整を行います。また、入職手続きもこの時期に行う為、研修医や内定者と密に連絡を取りながら確実に行います。
3月	修了認定・オリエンテーション準備	研修を修了するための認定手続きや、4月のオリエンテーションの準備を行います。

私たちのフィールド > 事務

志は高く、腰は低く。

総務・人事



教職員支援機構 本部事務局総務企画課総務係
係員

窪川 智識
クボカワ サトシ

平成31年度採用

Q 1 現在の仕事内容について

私の所属する総務企画課総務係では、組織全体に関わる様々な業務があり、その中で、規程の制定・改廃、文部科学省との連絡調整、情報公開に関する事などを担当しております。

各部署と連携・調整をしながら仕事を進めることが多いので、規程や各部署の業務などをしっかり把握することを心がけています。

Q 2 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

教職員支援機構は全国の教職員の資質向上を目的とし、研修の実施、研修コンテンツ配信などを行っております。私ができる仕事は小さくても、巡り巡って日本全国の先生方の支援につながることを感じながら仕事ができることに、やりがいを感じています。

Q 3 職場の雰囲気を教えてください

職場では公立学校や大学の先生、国、地方自治体、大学の職員等、様々な経験や背景を持つ方々と共に仕事をします。決して大きい組織ではありませんが、その分職員間でたくさんコミュニケーションをとることができ、多くの見方・考え方に触れられる素敵な職場です。

8:30	出 勤	メールチェックをします。メールの確認・対応は随時行います。
9:00	事務連絡会準備	月2回、幹部職員が集まり、課題等について議論する会議があります。そのための資料の取りまとめを行います。
10:30	各種資料作成	文部科学省等に提出する資料の作成を行います。
12:00	昼 食	機構内の食堂で食べたり、お弁当を食べたりします。
13:00	問い合わせ対応	メール等による問い合わせ（照会）について、係内で報告・連絡・相談を行いながら適切に対応します。
17:15	退 勤	翌日以降に処理する業務を確認して帰宅します。残業の日もありますが、早く帰宅できるよう、計画性のある仕事の仕方を心がけています。

コミュニケーションから 業務知識を増やす。



山梨大学 財務管理部会計課経理・契約第2グループ
一般職員

大塚 愛美花
オオツカ アミカ

平成31年度採用

Q 1 現在の仕事内容について

現在の主な仕事内容は「伝票作成」「予算管理」「契約業務」です。

先生方が研究に必要な物を購入したときには、請求書・納品書を受け取り、支払日までに伝票を作成し、支払いの処理を行います。その際に支出する予算の管理もあわせて行っています。

また、高額な物を購入するときは、先生と業者の間に入り契約を結ぶ業務を行います。

Q 2 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

業務が多岐にわたるため、日々新しいことを覚えながら取り組んでいます。新しく学んだことが既にある知識と繋がって理解できたときは、やりがいを感じます。

また、間接的ではありますが、日本の未来を担っている先生方の研究や将来色々な世界に羽ばたいていく学生のサポートができるということは大きな魅力です。

Q 3 職場の雰囲気を教えてください

職場の雰囲気は、明るく温かく本当に働きやすい環境です。特に、上司や先輩、誰にでも分からないことを聞ける雰囲気作りがされているので、1年目の新人でも自信をもって業務に取り組むことができる環境だと感じています。

8:30	出 勤	1日のスケジュール確認。
9:00	メールや 電話対応、 通常業務	メールの確認・電話の対応は随時行う。 伝票作成、予算管理、契約業務。
12:00	昼 食	のんびり休憩をしてリフレッシュしています。
13:00	メールや 電話対応、 通常業務	伝票作成、予算管理、契約業務。
17:15	退 勤	翌日の午前中に処理したい仕事を整理し退勤。

百年先千年先まで 貴重な資料を残し伝える。



人間文化研究機構国文学研究資料館 古典籍共同研究事業
センター事務室データベース第一係 主任

田中 梓
タナカ アズサ

平成21年度採用

Q 1 現在の仕事内容について

江戸時代以前の古い書物などを撮影し、デジタルデータとしてインターネット上で公開しています。撮影対象は、他機関が所蔵している資料が主になりますので、撮影や公開に関する交渉や撮影業者の手配などの業務を行っています。特に、国文学研究資料館では、職員による撮影も進めており、工程や品質の管理も担当しています。

Q 2 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

通常、貴重資料として直接目にしたり触ったりする機会の少ない書物を取り扱う立場ですので、非常に魅力的だと感じる一方、数百年間伝えられてきたものを自分のミスで損なってはいけないので責任も感じています。

Q 3 実際に仕事をしてみて、就職前とのギャップはありましたか

図書館というどうしても窓口で利用者の方々に応対する部分に意識が向いていたのですが、仕事を進めるなかで組織としての図書館及び機関についての理解が深まってくると、表面に出ない部分の業務の重要性に気づかされました。

月 初	前月の勤務記録報告	撮影スタッフの勤務実績をとりまとめて、担当部署へ提出
	撮影資料の輸送	他の大学等から撮影のために資料をお預かりするので、その輸送について、スケジュールを調整したり、業者を手配したりします。
	撮影に関する質疑応答	撮影を進めるなかでスタッフから、資料の取り扱い等様々な質問を受けるので、適宜回答します。
	撮影の交渉	貴重な資料をお持ちの機関に撮影させていただけないか交渉します。
中 旬	翌月の勤務予定確認	撮影スタッフの勤務予定をとりまとめて、担当部署へ提出します。 2020年度は密集を避けて適宜調整も行いました。

為せば成る。

技術職員



小山工業高等専門学校 教育研究技術支援部
技術室第2グループ 技術専門職員

平成22年度採用

大木 幹生
オオキ ミキオ

Q 1 現在の仕事内容について

主に、校内ネットワークインフラや各種サーバの運用、各種アカウントの新規登録や再発行です。故障した機器の交換作業や機器入れ替えの際の仕様策定、業者との打ち合わせ等も行います。また、電子情報系の実験・実習指導や他学科のコンピュータ系授業の支援等も行います。

Q 2 施設系／教育・研究支援系業務の魅力、やりがいについて

ネットワークインフラは様々な業務にとって必要不可欠なものになりつつあり、可能な限りネットワークが止まらないよう運用する必要があります。一方で、ニュース等で話題になることが増えてきている通りセキュリティ事情が厳しくなってきたため、職員各自のセキュリティに対する意識も高まってきました。そのため、セキュリティに関する相談案件も増えてきています。あまり目立たない業務内容ですが「縁の下の力持ち」として、ネットワークに興味がある方には、大変やりがいのある職種だと感じています。

8:30	業務開始	仕事の優先順位や一日の計画を立てる。
8:40	グループミーティング・技術室会議	グループメンバー間で互いの業務予定や報告事項について共有します。また、週に一度技術室全体の会議があります。
～12:00	実験・実習準備	午後にある実験・実習の準備を行います。
12:10	昼 食	弁当を持参して執務室が最寄りのショッピングセンターで昼食をとります。
12:55～15:20	実験・実習指導	学生実験の指導を行います。
随 時	アカウント新規発行・再発行受付故障機器交換	教職員・学生が持つ各種アカウントに関する業務や、故障した機器の交換作業を行います。
16:30	会 議	月に一度、情報ネットワーク室の担当として、情報科学教育研究センターの会議に参加します。
17:00	退 勤	本で行った業務と明日のスケジュールを併せて確認して退勤。

私たちのフィールド > 技術

「施設系」業務の魅力 ～群馬大学大型施設整備事～

メッセージ

施設系業務は地味に映るかもしれませんが、大学運営を支える大きな動力源です。そして今、群馬大学では持続可能な社会の一助になるべく、省エネや環境保全対策に力を入れ始めています。その実現には若い人のアイデアやセンスが必要になります。さまざまな施設といろいろな人たちに囲まれての仕事は挑戦がいがあり、刺激的で人的成長も促してくれます。関係者から“ありがとう”“使いやすくなった”という言葉は心のオアシスになってくれますよ。

施設運営部施設企画課環境安全係主任

平成18年度採用 **佐藤 雄一**
サトウ ユウイチ

施設運営部施設整備課電気係技術職員

平成27年度採用 **佐藤 友美**
サトウ トモミ

施設運営部施設整備課機械係技術職員

平成25年度採用 **福島 真一**
フクシマ シンイチ



群馬大学が近年行った大型施設整備事業のひとつに幼稚園の改築工事があります。皆さんはどのように関わったのでしょうか？

佐藤(友) 幼稚園改築事業は、老朽化と安全面への配慮から平成29年から平成30年にかけて行われました。コンセプトは、木の温もりをいかした木造建築ながらZEB※を達成したこれまでにない斬新でユニークな幼稚園です。

※省エネや再生可能エネルギーを導入し、建物で消費する一次エネルギーをゼロにすることを目指した建物

佐藤(雄) 私のいる環境安全係では、キャンパス内の整備計画から建物の管理運営の一連の流れに関わる業務、省エネ対策に力を入れています。幼稚園の改築事業では、園児の協調性や好奇心を育てるような仕掛けと回遊性の高いオープンな環境になるように設計しました。

佐藤(友) 私のいる施設整備課電気係では、建物の電気に関わる配線や設計から管理までを行っています。この幼稚園には新たに高効率な省エネタイプの電気機器を導入しています。完成したあと園児たちの元気な声を聞くと、縁の下の力持ちになれていると実感できます。

福島 自分の仕事の跡が目に見える形で残っているというのはモチベーションに直結します。機械整備に関わる施設整備課機械係では、高効率の空調システムや高機能換気システムを設置するのはもちろん、水飲み場や洗面所などの園児が使用する設備の高さまでこだわりました。物づくりに携わりながら自己成長できるのもこの課の魅力ですね。



大型施設整備事業のもう一つの目玉が、次世代モビリティ社会実装研究センターの新営です。完全自動運転車両の技術開発と、その社会実現に向けた研究施設で、まさに近未来です。

福島 管制室や修理工場などを備えた2階建てで100m近い縦長の建物と、国内最大規模の専用試験路が整備されています。初めてずくめの毎日で、建築シミュレーションゲームのように新しい空間や環境ができる過程をそばで見られたのは心躍りました。

佐藤(友) これまでの改修工事と違い、新営工事は仕事の進め方ややり方がまったく異なり、電気供給がないエリアにライフラインを延伸させる作業は苦心したものものの刺激的でした。20名程度の部署なので、意見交換もしやすく、若手の意見やアイデアを吸い上げてくれるのはスモールコミュニティの良さだと思います。

福島 上司に相談すると図面を引いている手を止めて過去の事例を見せてくれます。職場は和やかな雰囲気だし、人材を育成する土壌がしっかり根付いている気がします。

佐藤(雄) 幼稚園の改築もそうですが、各部署が“情報が命”ということをしっかり理解して連携を取りながら仕事に臨んだからこそ、完成することができました。部署全体でも、自分の考えを持ち主体的に仕事に取り組める環境作りは意識しています。私は上司から“聖徳太子になれ”と口酸っぱく言われ、毎日耳が“ピクピク”動いていますよ。

「施設系」業務は、教職員や教授、学生や園児が安心安全に過ごすために絶対に欠かせません。そんな大学運営の土台を担う仕事の魅力ややりがいについて教えてください。

福島 私たちが働く職場には、大学、病院、小・中学校と用途の違う建物が詰まっています。それぞれ異なったニーズにチューニングするのは単純作業とはいきませんが、それが面白さでもあります。

佐藤(友) キャンパス全体での電気の総供給量は決まっています。建物ごとの分配を考えるのは論理パズルを解いているみたいで知的好奇心をくすぐられます。修繕関係から大規模改修と業務も多岐にわたります。あとは電気の供給は止められないという責任感ですね。

佐藤(雄) 私たちに共通しているのは、年齢も職種も実にさまざまな人と接する仕事だということです。多様な価値観の吸入になるし、アイデアの源泉にもなります。これは技術職員ならではです。

学生向け AIチャットボット導入 検討チームに参加して

Q 1 AIチャットボット導入検討チーム 参加の経緯について

チャットボットとは、「チャット(会話)」と「ロボット」を組み合わせた言葉で、「リアルタイム自動会話プログラム」のことを言います。AI(機械学習)により、ユーザーの入力文章を単語に分け、質問の意図に関わる重要な言葉を抽出し、類義語とマッチングさせることで回答精度を上げています。

本学でもチャットボットを活用できないか、業務の効率化と職員の業務改善への意識向上を推進する「業務改善推進室」と有志の若手職員で検討することとなり、運良くメンバーに選ばれた私は、通常業務とは別にチャットボットの導入検討、運用に携わることとなりました。



Q 2 具体的にどのような仕事をしたのか、チャットボットの導入目的と転機、今後の目標等について

チャットボット導入検討チームでの仕事

私の主な役割は、学生と関わる部署の職員にアンケートを用いて現状分析及び課題点の洗い出しを行い、導入のための事務局長へのプレゼンテーションを行いました。導入の許可が下りた後は、関係する部署の職員へチャットボットの運用方法や機能に関する説明会を開催し、本稼働後はチャットボットの管理及び利用状況や改善点の月次報告を行っています。

チャットボットの導入目的と転機

学生生活における様々な手続方法や窓口では聞きづらい些細な疑問に24時間学生に自動で回答でき、また、職員の窓口対応の負担を減らすことを目的に導入を進めていました。2020年4月から本稼働を開始して、半年ほどかけてゆっくり動作確認やブラッシュアップを進めていく予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で大学への入校禁止、授業開始日の変更、授業は原則オンライン実施といった急激な変化に伴い、学生からの問い合わせが急増しました。加えて、2020年4月3日の学長から学生へのメッセージの中でチャットボットが紹介された結果、当初1か月あたり100件程度を想定していた利用件数が、4月だけで4,200件を超えることとなりました。日々蓄積されていく質問に対して、回答の作成・修正を行っていくことは大変でもありましたが、同時に多くの学生の助けになっていることが嬉しくもありました。

今後の目標

導入当初は在学生向けの回答しかなかったチャットボットですが、現在は入試やオープンキャンパスの情報といった受験生向けの回答も整備が進んでいます。いずれは、教員の事務手続きや職員の業務のサポート等多方面への展開を期待しています。また、チャットボットの回答は、関係する各部署の職員が手分けして作成しています。新しいシステムに触れる経験が、新たな業務の効率化やサービス向上のきっかけになれば幸いです。

埼玉大学 学務部教育企画課教務担当係 一般職員

平成25年度採用

花見 宏樹
ハナミ ヒロキ

私たちのキャリア形成

> キャリアパス

係員として採用され、いくつかの部署を経験した後、勤務成績、年齢等を考慮して主任、係長、課長補佐、課長といった順に昇任します。人事異動は、組織の活性化と人材育成の観点から、約2～3年ごとにあり、様々な業務を経験します。

略 歴

令和2年4月1日
学生部学生生活課



筑波大学 学生部学生生活課総務
一般職員

令和2年度採用

田村 英介

タムラ エイスケ

Q₁ 現在の仕事内容について

課の総務担当として、定期的な会議、イベントの運営から教職員の出退勤の情報の管理、各種調査のとりまとめまで様々な業務を行っています。他の係、部署と連携することも多く、大学全体の業務について日々新しいことを覚え、学んでいます。今年度は、オンライン会議を活用する機会が多く、昨年度から変えるべき部分、変える必要のない部分を検討して柔軟に対応することが求められ、係の先輩・上司と連携して取り組むことができています。

Q₂ 仕事をする上で心がけていること

情報を伝える際に、相手にとって理解しやすい説明をするように心がけています。特に、メールをはじめとする文書では文字の情報しかなく、あいまいな書き方が原因でミスにつながることもあるので、読み手によっていろいろな解釈ができてしまう文章は書かないよう細心の注意を払っています。また、多少手間ではあっても、実際に足を運んで資料を示しながら説明するなどより正確な手段を選ぶことも大切だと思っています。

Q₃ どんな先輩・上司になりたいか

「何か困ったことがあったら田村さんを頼ろう」と思ってもらえるようになりたいです。そのためには、自分の業務外のことにも常に関心を持ち、広い知識を身につけることが必要だと思います。簡単なことではありませんが、日々の積み重ねを大切にしたいと頼れる先輩を目指します。

略 歴

平成28年4月
財務課契約係
平成30年4月
総務企画課
企画評価グループ企画評価係



国立特別支援教育総合研究所 総務企画課企画評価グループ企画評価係
主 任

平成28年度採用

坂上 菜美子

サカウエ ナミコ

Q₁ 現在の仕事内容について

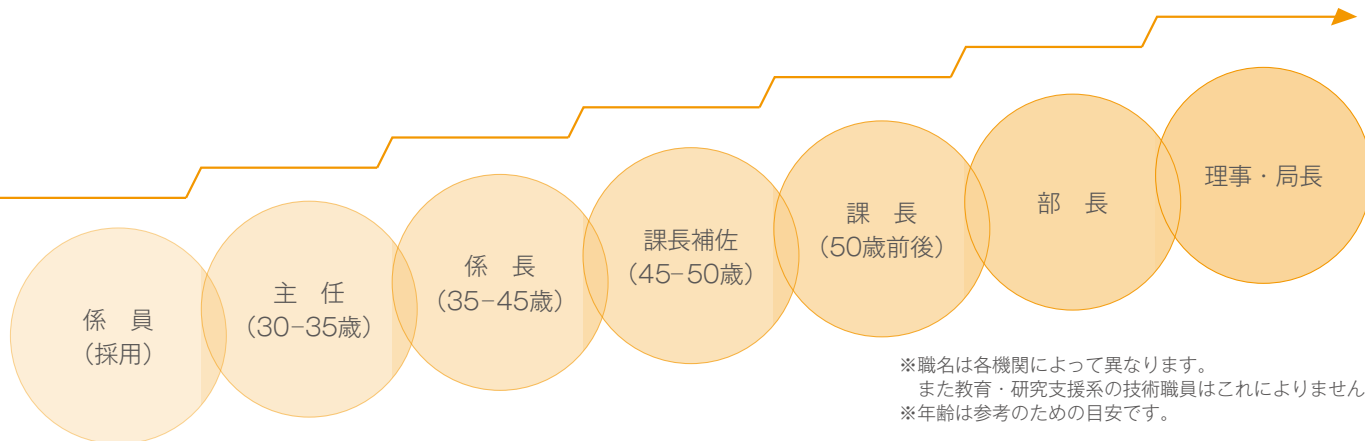
現在は研究支援の業務を主に担当しており、研究員が研究を行ううえで必要な手続きのサポートを行っています。その他に、現在所属している企画評価係の業務は法人評価・研究評価・会議運営等の多岐にわたり、機関全体の業務を見ることができると、とても勉強になります。これまでは研究評価・会議運営の業務や物品・役務・施設管理の契約を行う業務に携わってきました。それぞれの業務で経験してきたことを生かしながら現在の業務に当たっています。

Q₂ 仕事をする上で心がけていること

係全体でしっかりと情報共有できるよう、報告・連絡・相談は常に心がけています。また、新しいことに取り組む時は、上司をはじめ様々な人に相談し、意見をもらうことで、自分には無かったアイデアや切り口を見付けることができます。コロナ禍により、オンライン会議に切り替える等、今までの業務の進め方を大きく見直す必要があるため、今後もこの姿勢は大事にしていきたいと思っています。

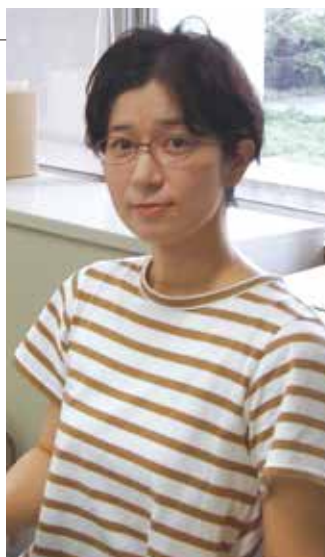
Q₃ どんな先輩・上司になりたいか

後輩や部下のよいところを伸ばしてあげられるような先輩・上司になりたいと考えています。そのためには、その人にあった指導ができるよう、自身も業務に関する幅広い知識・実務経験を身につけるとともに、分かりやすい指導・説明ができるよう、日々心がけていきたいと思っています。



経歴

平成17年8月1日
東京学芸大学施設
マネジメント部施設企画課総務係
平成20年4月1日
東京学芸大学総務部人事課人事係付
(文部科学省行政実務研修生)
平成21年4月1日
東京学芸大学学務部学生サービス課
学生生活・奨学係
平成21年7月1日
東京学芸大学学務部学生課学生支援係
平成25年4月1日
文部科学省初等中等教育局教職員課
教員免許企画更新第二係主任
平成27年4月1日
東京学芸大学財務施設部
財務課財務企画第一係主任
平成28年7月1日
東京学芸大学学務部
キャリア支援課キャリア支援係長
平成30年4月1日
東京学芸大学総務部人事課給与
第一係長
令和2年4月1日
東京学芸大学総務部人事課給与
第二係長



東京学芸大学 総務部人事課給与第二係
係長

平成17年度採用

内野 慶子

ウチノ ケイコ

Q1 現在の仕事内容について

給与第二係では、教職員の給与の支給、及びそれに伴う所得税や地方税の徴収に関する業務、文部科学省共済組合支部に関する業務を行っています。他の部署の業務においても正確で迅速な業務遂行が求められますが、人事課での業務は、今まで以上に誤りの無いよう慎重に確認作業を行いながら取り組んでいます。教職員の生活に密接な業務であるため、一職員としても非常に勉強になりますし、今後、庶務業務を行う際の大切な知識になると考えています。

Q2 昇任を経て、仕事に対する見方や意識が変わった点

係員や主任の際は、自分自身の業務の効率を考えて業務を行っていましたが、昇任を経て、係や課全体の業務の効率や大学の求められる役割を考えながら業務を行うようになりました。また、一日の中の起きている時間の大半を職場で過ごすため、一緒に働く係の皆が心身ともに健康でいられるように、業務バランスや休暇の取得等コミュニケーションを取りながら職場環境を少しでも良くするようにと心掛けるようになりました。

Q3 職員に求めることや期待すること

現在、コロナ禍で今までとは異なる環境下に対応した業務が求められています。また、大学を取り巻く環境も年々変わっており、そのような中でも柔軟に改革意欲を持って業務に取り組むこと、また、何事にも誠実な対応を心掛けることが大切であると考えています。一緒に頑張りましょう。

経歴

平成14年4月1日
総務部総務課文書係
平成15年4月1日
総務部人事課人事係
平成17年4月1日
総合戦略室
平成19年2月15日
人材開発室
平成20年4月1日
国際ナノアーキテクニクス研究拠点
事務部門
平成22年5月1日
同係長
平成22年10月1日
カリフォルニア大学ロサンゼルス校へ
研修派遣(平成23年3月31日まで)
平成23年11月1日
外部連携部門学術連携室大学院チーム係長
平成24年9月1日
文部科学省へ在籍出向
平成25年2月13日
企画部門戦略室係長
平成28年4月1日
人材部門人事室人事第1係長
令和2年7月1日
外部連携部門企業連携室調査役



物質・材料研究機構 外部連携部門企業連携室
調査役

平成14年度採用

松本 信介

マツモト シンスケ

Q1 現在の仕事内容について

私が所属する部署は、研究成果の産業界への移転を主なミッションとしており、その中で法人発ベンチャーへの援助、他機関との契約の締結などを担当しています。この業務を円滑に進めるためには、研究現場の実情への理解が助けになるため、研究部門での業務や海外大学への派遣の経験が役に立っています。また、新たな成果移転の試みのために関係法令を解釈し、ルール化して運用する際には、文部科学省への出向(法律案作成)経験や、管理・企画部門での法令/規程を運用する業務の経験が活かせると思います。

Q2 昇任を経て、仕事に対する見方や意識が変わった点

現職に昇任する数年前から、気づけば組織の中で私よりも年次の浅い職員の方が多くなっていました。今の業務は未経験の分野であるため、自身の業務の幅を広げる好機だと思っていますが、同時に、特に年次の離れた若手職員に対しては、部署にかかわらず私がこれまで培ってきたものを伝え、参考としてもらえるような、そのような指示・アドバイスを心がけたいと考えようになりました。

Q3 職員に求めることや期待すること

人を頼り、頼られる人になって欲しいと思います。私はこれまで、特に若手と呼ばれた頃は無遠慮なほどに先輩がたに様々なことを尋ね、頼らせていただきましたが、それにより今の自分があります。これからは、逆に後輩に頼りにしてもらえれば嬉しいです。

私たちのキャリア形成

事務職員としての「基礎力」と「専門性」を 育むキャリア形成

～基本は何事も一生懸命！～

宇都宮大学
アドミッションセンター事務室長

平成8年度採用

渡邊 文彦

ワタナベ フミヒコ



経 歴

平成8年1月	宇都宮大学総務部主計課監査・法規係
平成10年4月	文部科学省大臣官房会計課第二予算班(併任)
平成11年4月	宇都宮大学総務部主計課管財係
平成13年4月	同 総務部主計課予算係
平成14年4月	同 総務部主計課予算係主任
平成16年4月	同 財務部財務課管理・管財係長
平成17年4月	同 財務部財務課決算係長
平成19年4月	同 財務部財務課審査係長
平成22年4月	同 総務部総務課法規調整係長
平成23年4月	同 企画広報部企画広報課企画調整係長
平成26年4月	同 企画広報部企画広報課課長補佐(広報担当)
平成31年4月	同 アドミッションセンター事務室室長補佐
令和2年4月	同 アドミッションセンター事務室長

14年目

仕事を懸命にこなすことで、深みと幅の広がりのある人材へ

採用から14年目に総務課に異動となりました。大学運営や政策の意思決定プロセスを間近で学ぶことができ、より広い視野をもって大学運営を捉えられるように。そして企画広報課に異動となります。大学評価関係の担当を3年務めた後、広報を担当することになりました。このタイミングで課長補佐を拝命。報道機関対応(プレスリリースや記者会見)、広報誌の作成、そして高校生に向けた入試広報など、学内の魅力を外部にアピールしていきます。

広報を担当したのは5年でしたが、本学オリジナルキャラクターの誕生に立ち会えたのは非常に思い出深いですね。元々、若手職員グループの発案からスタートしたプロジェクト。学内公募から半年間に及ぶ選考プロセスを経て選ばれたのが、「宇大の妖精」"宇～太"です。彼のおかげで多くの企画を実現でき、また先生方や学生、地域の皆さんなど幅広い方々と接したり、仕事を共にすることができました。

メッセージ

高度に展開される研究をベースに、これからの社会を支える人材を育成する学びの場、それが国立大学であると考えます。それぞれの大学の個性を最大限に生かしながら社会に貢献し続ける地域の「知」の拠点でもあります。

そして国立大学職員は、教員とともに大学の教育研究を支える欠かせない存在です。活躍するフィールドも、総務、財務、広報から教育研究の支援まで本当にバラエティにあふれています。皆さんの個性とマッチングした、活躍できるフィールドが必ずあるはずです。意欲溢れる皆さんと一緒に働くことを楽しみにしています。



宇都宮大学のキャラクター「宇～太」とともに

1年目

将来につながる仕事のイロハを着実に積み上げる

採用後すぐ総務部主計課に着任しました。決議書の照査や会計関連の規程整備、そして予算管理や国有財産管理まで、幅広い業務に携わることができました。また、文部省(現文部科学省)会計課予算班での勤務や、財務省の会計研修にも参加。基礎的な知識を得られたことはもとより、外部から大学業務を客観的に見られたことで、視座はワンランクアップし、人的ネットワークの構築にも繋がりました。

そして仕事の基礎が固まりつつあった8年目、係長へのキャリアアップと重なるように、国立大学の経営は国立大学法人化という大きな転換期を迎えます。企業会計の導入に伴う新しい会計システムの構築や関係各所との調整などあたふたすることも多々ありました。ですが、様々な情報をキャッチアップして新たな会計制度を取りまとめ、幹部の先生方に直接説明するなど、主体的になり、同時に責任感が芽生え始めた時期でもあります。

21年目

現場感覚を失わずに若手の声を拾っていききたい

アドミッションセンター事務室長の今、入試業務や入試広報業務の事務的な統括を担当。新型コロナウイルス感染症対策についてしっかり配慮しながら、ミスのない着実な入試実施に向け日々業務を進めています。

もう一つの業務の柱が入試広報業務です。入試広報業務は、正しい入試情報の提供をベースに、希望や夢を持ち、そして将来に悩む高校生と向き合い、大学の学びや研究内容を伝えることで、最適な進路を選択できるようマッチングさせることが本質であると考えています。

今は事務室長という立場でマネジメント業務が中心になりましたが、現場感覚を失うことなく、スタッフ達と協力し合い、達成感や喜びを分かち合いたい。そして、日々の会話を通して私の希望ややりたいことを汲んでステップアップの道を示してくれた上司のように、私も若手の声を拾っていきたくて考えています。

> キャリアデザイン(研修)

カリフォルニア夏季研修での職業体験について

国際企画課で留学生受入・支援に従事しており、2019年にアメリカのカリフォルニア州立大学チコ校で3週間職業体験の機会を頂きました。

アメリカでは経済格差が深刻な問題になっており、チコ校も学生に対しての経済支援を重要な課題として扱っていました。私は、経済的困難にある学生への支援活動を行う組織に所属し、食品・衛生用品の配布、イベント補助、他部署との会議参加等の活動をしました。会議では、「学生が勉強に集中できる環境を整えるにはどのような支援ができるか」というテーマで、「困窮学生への短期住居支援」や「栄養バランスを考えた食育」などが提案されました。実現に向けての今後の計画が具体的に議論される現場に立ち会い、職員の積極的な姿勢に刺激を受けました。

研修で出会った職員とのメールでの交流が今も続いており、研修のおかげで自分のネットワークが広がったことがとてもうれしく、考え方や視野も広がったと感じています。



信州大学 国際部国際企画課
係 員

平成24年度採用

小池 知香

コイケ チカ

> キャリアデザイン(人事交流)

国立青少年教育振興機構 国立妙高青少年自然の家

私は、平成29年4月から3年間、国立妙高青少年自然の家に総務係員として出向し、給与、福利厚生、情報システム、働き方改革などの業務を担当しました。また、事務にとどまらず、宿泊室の退去点検や草刈りなど施設整備の仕事を経験しました。

出向期間を通して、機構職員、公立学校教員、大学事務職員、パートタイム職員の方々と一緒に働くことでたくさんの仕事のスタンスを知り、「自分の常識は他人の常識ではない」ということを学びました。また、そういった職員間での協働の中、意見を交換しあうことで「これで本当によいのか、もっとよくするにはどうしたらいいか」という改善の視点を持ち、考えて仕事をする大切さも学びました。これは環境変化のスピードが早いこの時代に現状にとどまることなく、職員ひとり一人のよさを活かしながら、よりよい仕事のやり方、質を考えていくことにつながります。

人事交流先での経験が、「人と一緒に仕事をする意識」として現在も業務に活かされています。



上越教育大学 総務課総務チーム
スタッフ

平成25年度採用

草間 祐太

クサマ ユウタ

私たちのワーク・ライフ・バランス

work life balance

妊娠、出産、育児と仕事との両立について

現在、2児の子育てをしながら働いています。第1子第2子ともに産前産後休暇、育児休業を取得しました。更にありがたいことに、同職の夫も育児休業を1か月程度取得し、夫婦ともに育児に専念する時間をいただきました。おかげで、夫婦間で育児や家事に関する多くの情報を共有することができ、臨機応変にかつ効率よく育児家事を分担して行うことができています。

復帰後は、上司や同僚の理解、協力を得て、業務の負担を見直していただきました。育児時間制度を利用し、無理なく家庭と仕事を両立することができています。

出産や育児を支援する様々な制度があり、更にその制度の利用に際して周囲の方々の理解や配慮をいただけるのは、本当にありがたい環境だと思います。今後は、自らの経験を活かし、教職員の様々なライフイベントに応じたワークライフバランスの実現のために貢献したいと思います。

新潟大学 総務部労務福利課職員係
主 任

平成19年度採用

西山 万里

ニシヤマ マリ

育休



きっかけは育休!～イクメン道入門編～

第1子の出生を機に、1か月半育児休業を取得しました。育休期間中は3時間おきのミルクやおむつ交換、毎日の沐浴など、妻と分担して育児に専念していました。出産後の妻の負担軽減にも貢献でき、父親の自覚も育めたのではと感じています。育休中も職場の方々からフォローを頂き、育休後もスムーズに復帰することができた事を今でも感謝しています。

現在は、保育園のお迎えのある日は定時までに仕事を終わらせる必要があるため、段取りを考える、周囲の協力を仰ぐなど、効率的に進める方法を今まで以上に考えるようになりました。退勤後はできるだけ気持ちを切り替えて、家事や家族との時間を大切にするようにしています。

現部署では、科学技術の学校教育導入をミッションとした、所内次世代育成オフィスの活動を職員として支援していますが、子どもを持つ親の立場で活動の意義を考えることも多く、育休経験が仕事にも好影響を与えていることを実感しています。

東京大学 生産技術研究所総務課広報チーム
主 任

平成24年度採用

内村 昇平

ウチムラ ショウヘイ

育休



休日のリフレッシュについて

私は現在、国立大学評価室という部署に配属されており、国立大学法人等の中期目標の期間（6年間をひとつの区切り）における業務の実績のうち、教育研究の状況についての評価に関する業務に携わっています。

基本的にはディスプレイに向かっての業務となるため、身体が固まりやすく、休日は意識的に身体を動かすように心がけています。フィルムの一眼レフや二眼レフを持って散歩にでかけたり、ハンドボールの社会人チームの練習にほぼ毎週参加して汗を流したりすることで、日ごろの運動不足を解消しています。

所属している社会人チームには、大学生から50代までの男女が在籍しており、職業も出身地もばらばらのため、日ごろの業務とは違った刺激を受けています。マスターズ（40歳以上）の大会では、60代でハンドボールを楽しんでいらっしゃる方もいますが、私には厳しそうなので、まずは40歳までの現役を目指したいと思います。

大学改革支援・学位授与機構 評価事業部評価企画課
国立大学評価室現況分析第2係 係員

平成26年度採用

田中 大海

タナカ オオミ

趣

味



自分の力を信じて挑戦を

Q₁ 現在の仕事内容について

私は、全学対象の交換留学や語学研修等の業務を統括しています。係内で業務が滞りなく進んでいるか、問題がないかを確認したり、他の係との調整、本学から協定校へ留学中の派遣生や協定校から受け入れている留学生のケアなど幅広い業務を行っています。

Q₂ 国立大学法人等に転職をした理由について

転職前は旅行業務に就いており、オーストラリアで13年間、主に日本人ツアーの現地係員として働いていました。この間に、高校の修学旅行や、大学生のインターンシップに関わる機会があり、教育機関の国際業務に関心を持ちました。民間企業は、生き残るために常に新しいことを考えて挑戦を続けています。私は民間企業で学んだスキルとチャレンジ精神を活かして、時代の先端を担う大学の一員として頑張りたいと思っています。

横浜国立大学 学務部国際教育課留学交流係
係 長

平成27年度採用

脇 真由美

ワキ マユミ

転

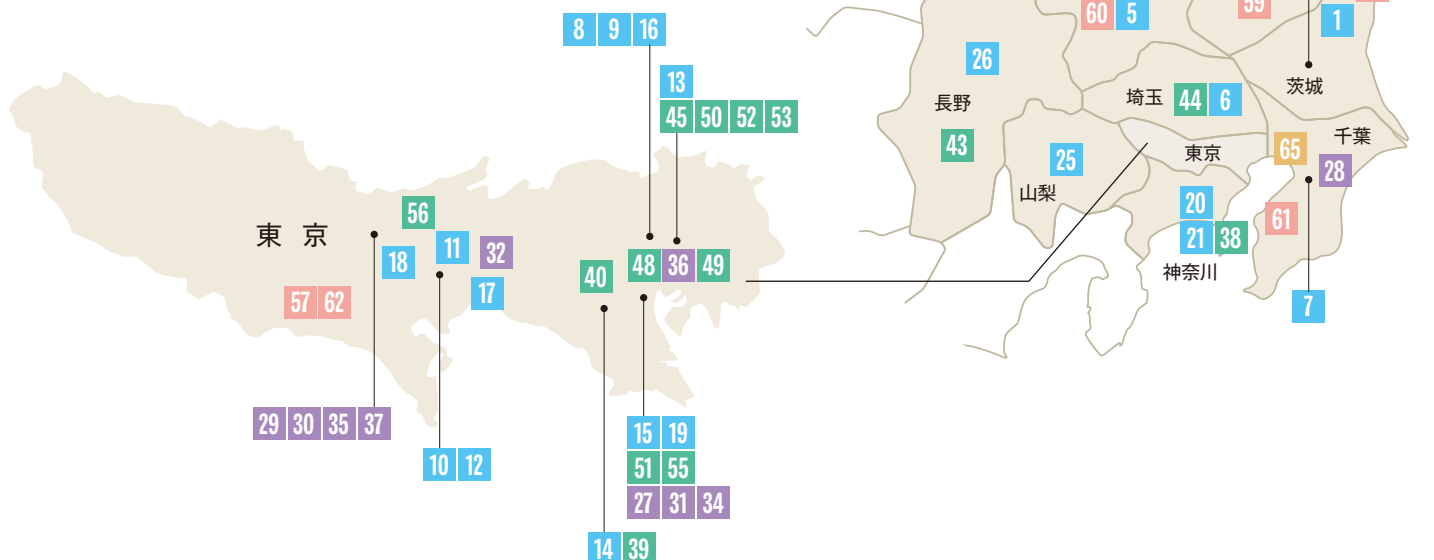
職



関東甲信越地区65機関紹介

各機関は、設置以来の歴史と伝統、学問分野、規模、重視する機能などの違いから、それぞれに個性と特色をもっています。

65の個性かがやく機関は、あなたの未来をひらく「知の拠点」です。



国立大学法人

1	茨城大学	P29
2	筑波大学	P29
3	筑波技術大学	P29
4	宇都宮大学	P29
5	群馬大学	P29
6	埼玉大学	P30
7	千葉大学	P30
8	東京大学	P30
9	東京医科歯科大学	P30
10	東京外国語大学	P30
11	東京学芸大学	P30
12	東京農工大学	P31
13	東京藝術大学	P31
14	東京工業大学	P31
15	東京海洋大学	P31
16	お茶の水女子大学	P31
17	電気通信大学	P31
18	一橋大学	P32
19	政策研究大学院大学	P32
20	横浜国立大学	P32
21	総合研究大学院大学	P32
22	新潟大学	P32
23	長岡技術科学大学	P32
24	上越教育大学	P33
25	山梨大学	P33
26	信州大学	P33

大学共同利用機関法人

27	人間文化研究機構事務局	P33
28	国立歴史民俗博物館	P33
29	国文学研究資料館	P33
30	国立国語研究所	P34
31	自然科学研究機構事務局	P34
32	国立天文台	P34
33	高エネルギー加速器研究機構	P34
34	情報・システム研究機構	P34
35	国立極地研究所	P34
36	国立情報学研究所	P35
37	統計数理研究所	P35

独立行政法人

38	国立特別支援教育総合研究所	P35
39	大学入試センター	P35
40	国立青少年教育振興機構	P35
41	国立赤城青少年交流の家	P35
42	国立妙高青少年自然の家	P36
43	国立信州高遠青少年自然の家	P36
44	国立女性教育会館	P36
45	国立科学博物館	P36
46	物質・材料研究機構	P36
47	防災科学技術研究所	P36
48	東京国立近代美術館	P37
49	国立映画アーカイブ	P37
50	国立西洋美術館	P37
51	国立新美術館	P37
52	東京国立博物館	P37
53	東京文化財研究所	P37
54	教職員支援機構	P37
55	日本スポーツ振興センター	P37
56	大学改革支援・学位授与機構	P37

独立行政法人 国立高等専門学校機構

57	国立高等専門学校機構本部事務局	P38
58	茨城工業高等専門学校	P38
59	小山工業高等専門学校	P38
60	群馬工業高等専門学校	P38
61	木更津工業高等専門学校	P38
62	東京工業高等専門学校	P38
63	長岡工業高等専門学校	P39
64	長野工業高等専門学校	P39

特別な学校法人

65	放送大学学園	P39
----	--------	-----

各機関の紹介

関東甲信越地区の全65機関の紹介です。
求める人物像やメッセージも掲載していますので、
ぜひ、参考にしてください。
(職員数はR2.5.1現在)

- 国立大学法人
- 大学共同利用機関法人
- 独立行政法人
- 独立行政法人 国立高等専門学校機構
- 特別な学校法人



1



国立大学法人 茨城大学

**学生が活気にあふれ、教職員がやる気に満ち、地域が元気になる、
ダイバーシティを活かした大学に**

茨城大学は、1949年5月に開学した70年の歴史をもつ総合大学です。知の拠点として地域社会と協力しながら、学生がたくましく育つ大学、世界で特色が輝く大学をめざします。本学では、若い皆さんの感性による柔軟な発想、チャレンジ精神、向上心を活かした大胆な行動力を期待しています。新しい時代の大学として変化を続ける茨城大学を支えていきたいという志のある方を求めています。

〒310-8512
茨城県水戸市文京2丁目1番1号
■ 総務部人事労務課(採用担当)
☎ 029-228-8014
■ 全教職員数(常勤)907名
(うち 事務職員240名、
図書職員8名、技術職員44名)



2



国立大学法人 筑波大学

[IMAGINE THE FUTURE.]

～私たちと一緒に未来を創造していきましょう！

筑波大学は、研究学園都市筑波の地で、常に創造的な挑戦を続ける「未来構想大学」として、国境や機関などあらゆる壁を越える「トランスポーター大学」への飛躍を目指して改革を続けています。

本学が様々な分野で新しい挑戦や改革を進めていくためには、新しい感性を持ったみなさんの力が不可欠です。「未来のプロトランナー」筑波大学で、あなたの力を発揮してみませんか。

〒305-8577
茨城県つくば市天王台1-1-1
■ 総務部人事課(事務系任用)
☎ 029-853-2090・2091
■ 全教職員数(常勤)5,456名
(うち 事務職員1,077名、
図書職員54名、技術職員252名)



3



国立大学法人 筑波技術大学

聴覚障害者と視覚障害者のためのわが国唯一の高等教育機関

筑波技術大学は、聴覚障害者と視覚障害者のためのわが国唯一の高等教育機関として1987年に設立された大学であり、聴覚障害者が学ぶ産業技術学部と視覚障害者が学ぶ保健科学部の2学部から構成されています。

本学職員に特別な能力は必要ありません。社会人としての基本的能力や変化に対応できる柔軟性に加え、自立した学生を社会に送り出すためのサポートができる方をお待ちしています。

〒305-8520
茨城県つくば市天久保4-3-15
■ 総務課人事係
☎ 029-858-9308・9309
■ 全教職員数(常勤)175名
(うち 事務職員50名、図書職員2名、技術職員8名)



4



国立大学法人 宇都宮大学

**教職員・学生の熱い思いと癒やしの場が一体となった
魅力ある大学を目指して**

宇都宮大学は、日本で最も学生を大切に育て、「地域の知の拠点」として貢献し、地域から信頼される大学であり続けることを方針として掲げ、教職員一丸となって大胆な改革を進めています。“顔の見える距離感”をベースに対話・議論を通じて課題を解決していくのが本学の特徴です。自分を成長させ、「みんなのために」力を発揮する情熱をお持ちの方、私たちと共にチャレンジしてみませんか？

〒321-8505
栃木県宇都宮市峰町350
■ 総務部総務課人事総括係
☎ 028-649-5022
■ 全教職員数(常勤)624名
(うち 事務職員148名、
図書職員2名、技術職員57名)



5



国立大学法人 群馬大学

群を抜け 駆ける世界を

群馬大学は、4学部、5大学院のほか、医学部附属病院、生体調節研究所、重粒子線医学推進機構などを擁する北関東を代表する総合大学です。教員、技術職員、事務職員が一丸となって成果を生み出すためには、事務職員は支援者ではなく、牽引者でなければなりません。情熱とチャレンジ精神を持って仕事に取り組み、より良い群馬大学を目指していける方と一緒に仕事ができることを楽しみにしています。

〒371-8510
群馬県前橋市荒牧町四丁目2番地
■ 総務部人事労務課人事企画係
☎ 027-220-7024・7031
■ 全教職員数(常勤)2,473名
(うち 事務職員350名、
図書職員5名、技術職員68名)





6 国立大学法人 埼玉大学

働きやすさもやりがいもギュッと詰まって All in One

埼玉大学は埼玉県下唯一の国立大学です。都心近くに位置しながら緑豊かで広々とした環境で、「埼玉大学 All in One Campus at 首都圏埼玉～多様性と融合の具現化～」を掲げ、組織の枠、学問の枠を超えた機能強化を図っています。

埼玉大学では役教職員が顔の見える環境で一体となって働く協調性や柔軟な発想力のある方を求めています。未来の埼玉大学を共に創っていきましょう！

■〒338-8570
埼玉県さいたま市桜区下大久保255
■総務部人事課人事第一係
☎ 048-858-3009
■全教職員数(常勤)741名
(うち 事務職員171名、
図書職員5名、技術職員38名)



7 国立大学法人 千葉大学

AD ALTIORA SEMPER つねに、より高きものをめざして

千葉大学は、グローバル人材の育成に向けて国際教養学部の新設や海外3大学に千葉大キャンパスの開設、また令和2年から「ENGINE」プランの下、全学生に海外留学を必修化しています。

「つねに、より高きものをめざして」という理念の下、世界に輝く未来志向型の総合大学を目指し、たゆみない挑戦を続ける千葉大学の職員として、あなたの力をフルに発揮してみませんか？

■〒263-8522
千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33
■企画総務部人事労務課人事計画係
☎ 043-290-2029
■全教職員数(常勤)3,400名
(うち 事務職員 533名、
図書職員 16名、技術職員 97名)



8 国立大学法人 東京大学

知の協創の世界拠点へ —"東大"を創ろう！—

東京大学は、10の学部、15の大学院をはじめ、全国に施設を持つ、国内最大規模の総合大学として、高度で多様な教育研究活動を行っています。本学の使命・役割は、これらの成果を広く社会に提供することにより社会の発展に寄与することです。本学がその公共的な使命・役割を果たすために、私たち職員の仕事があります。「東大」を創る、その一員に皆さんもなりませんか？

■〒113-8654
東京都文京区本郷7-3-1
■本部人材育成課職員採用チーム
☎ 03-5841-2317
■全教職員数(常勤)8,092名
(うち 事務職員1,415名、
図書職員152名、技術職員553名)



9 国立大学法人 東京医科歯科大学

世界に冠たる医療系総合大学へ

東京医科歯科大学は、昭和3年に設置された東京高等歯科医学校から歴史が始まり、それぞれ2つの大学院・学部・研究所を擁する日本唯一の医療系総合大学です。

本学は小規模ではありますが、教員、医療職員、事務職員が一丸となって前進しつづける活気のある大学です。自分の力で本学を発展させてやろうじゃないか!というガッツ溢れる人は是非本学の採用試験にチャレンジしてください。

■〒113-8510
東京都文京区湯島1-5-45
■総務部人事企画課人材育成係
☎ 03-5803-5020
■全教職員数(常勤)2,723名
(うち 事務職員472名、
技術職員46名)



10 国立大学法人 東京外国語大学

多文化共生に寄与する東京外国語大学

本学は長きにわたり、世界の言語とそれを基底とする文化、世界諸地域や国際的な問題について、研究と教育を行ってきました。小規模ながらも国際性豊かな本学では、幅広い業務経験や語学の研修機会に恵まれ、一人一人が大きく飛躍できる可能性に満ちています。世界各国の学生と共に成長する喜びと一緒に感じてみませんか。積極的にチャレンジ精神旺盛な方のご応募をお待ちしております。

■〒183-8534
東京都府中市朝日町3-11-1
■総務企画部人事労務課人事労務係
☎ 042-330-5127
■全教職員数(常勤)382名
(うち 事務職員97名、
図書職員8名、技術職員4名)



11 国立大学法人 東京学芸大学

『教育の総合大学』～教員養成系大学・学部の中核的役割を担う～

本学は、高い知識と教養を備えた創造力・実践力に富む有為の教育者を養成することを目的とし、学校教育とその周囲を支える教育マインドをもった人材を育成する「教育の総合大学」を目指しています。本学の使命である教育者養成は、未来を担う子どもを育てる人を育てるといふ非常にやりがいのある仕事です。私たちと一緒に教員や学生と協調しながら、大学の更なる成長を支えていきましょう。

■〒184-8501
東京都小金井市貫井北町4-1-1
■総務部人事課人事係
☎ 042-329-7124
■全教職員数(常勤)844名
(うち 事務職員191名、
図書職員9名、技術職員12名)





12 TAI 国立大学法人 東京農工大学

地球をまわそう。MORE SENSE!農工大

農工大は比較的小さな大学ですが、世界トップレベルの大学を目指し、全員で改革に臨む活気あふれる大学です。誰でも大学づくりに参加できる農工大では、社会・世界を見据えた、意義ある仕事に取り組むことができます。

武蔵野に位置する、自然と造形にあふれた職場で、皆さんの持つ可能性、力を存分に発揮して、世界を舞台に活躍する大学と一緒に創り上げていきませんか。

■〒183-8538
東京都府中市晴見町3-8-1
■総務部人事課任用係
☎ 042-367-5509
■全教職員数(常勤)583名
(うち 事務職員166、
図書職員7名、技術職員42名)



13 国立大学法人 東京藝術大学

芸術には無限の可能性が秘められており、
本学が果たす役割は一層高まっています。

東京藝術大学は世界にも類を見ない総合芸術大学です。本学は、次代の芸術家の育成や我が国の芸術文化の発展について指導的役割を果たすことが求められていますが、大学を取り巻く環境が大きく変化し、新たな課題も増えています。その課題と一緒に解決することのできる、若い力を求めています。本学では、各種研修のほか学生の研修旅行に同行し奈良・京都の古美術を学ぶプログラムも実施しています。

■〒110-8714
東京都台東区上野公園12-8
■総務課人事係
☎ 050-5525-2016
全教職員数(常勤)423名
(うち 事務職員133名、
図書職員13名、技術職員11名)



14 国立大学法人 東京工業大学

日本の東工大から、世界のTokyo Techへ

東京工業大学は、創立から130年を越える歴史をもつ国立大学であると同時に、世界にある約1万の大学の中でトップ100(理工系分野ではトップ20)に入る実力のある我が国を代表する理工系大学です。2018年3月に指定国立大学法人の指定を受けました。教職員、学生、同窓生が丸となる「Team 東工大」。その一員として新しい東工大の歴史と一緒に創っていきましょう!

■〒152-8550
東京都目黒区大岡山2-12-1
■総務部人事課企画グループ
☎ 03-5734-7620
■全教職員数(常勤)1,707名
(うち 事務職員478名、
図書職員19名、技術職員111名)



15 国立大学法人 東京海洋大学

我が国唯一の海洋系総合大学として、
世界最高水準の卓越した大学を目指す

東京海洋大学は、ともに創基140年を迎えようとする長い歴史と格式の高い伝統を有する東京商船大学と東京水産大学が統合して誕生した、我が国唯一の海洋系総合大学です。小規模大学の本学では教育・研究を支える職員の役割は重要で、様々な場面で活躍する機会があります。今後は更に国際化・高度化の要請に応えるため多様な人材育成の推進を図っており、一緒に大学を創る力を求めています。

■〒108-8477
東京都港区港南4-5-7
■総務部人事課任用・給与係
☎ 03-5463-0356
■全教職員数(常勤)478名
(うち 事務職員132名、
図書職員8名、
技術職員83名(船員含む))



16 国立大学法人 お茶の水女子大学

お茶の水女子大学は、学ぶ意欲のあるすべての女性にとって、
真摯な夢の実現される場として存在する

お茶の水女子大学は、日本最初的女子高等教育機関として1875年に開校され、以来、女子最高学府としての使命を担っており、現在もわが国と世界の未来を担う女性の育成に取り組んでいます。また、男女共同参画もいち早く手がけ、教職員のおよ半数が女性となっています。そのほか、ノー残業デーの実施や職員の早出遅出勤勤務など職員の働きやすい環境の整備も進んでいます。

■〒112-8610
東京都文京区大塚2丁目1番1号
■人事労務課人事企画担当
☎ 03-5978-5741
全教職員数(常勤)471名
(うち 事務職員96名、
図書館職員8名、技術職員10名)



17 UEC 国立大学法人 電気通信大学

“総合コミュニケーション科学”を創造する
Unique & Exciting Campus を目指して

電気通信大学は2018年に創立100周年を迎えました。唯一地名の付かない国立大学で、その目指す大学像をUnique & Exciting Campusと掲げ、理系単科大学として世界の持続的な発展に貢献します!

京王線調布駅徒歩5分に位置し、緑豊かな恵まれたキャンパスです。私達と一緒に学生、教員を支え大学の未来に向けて活躍して下さる方をお待ちしております!

■〒182-8585
東京都調布市調布ヶ丘1-5-1
■総務部人事労務課人事企画係
☎ 042-443-5021
■全教職員数(常勤)513名
(うち 事務職員112名、
図書職員3名、技術職員7名)





18



国立大学法人 一橋大学

"Captains of Industry ~知と業(わざ)のフロンティア~"

一橋大学では

- 世界最高水準の先端的研究・教育拠点としてさらなる発展を目指すため、自らが大学運営の担い手として、教員と一体となって業務に取り組む意欲がある人
- 様々な課題に対して、柔軟な姿勢で臨機応変な対応がとれる人
- 人の成長やスキルアップ、キャリアアップを積極的にサポートできる人
- 一橋大学に愛着と帰属意識を持ち、高い志を持って職務を遂行できる人を求めています。

■〒186-8601
東京都国立市中2-1
■総務部人事課人事係
☎ 042-580-8023
■全教職員数(常勤)512名
(うち 事務職員145名、
図書職員27名、技術職員5名)



19



国立大学法人 政策研究大学院大学

知の探究を通じてSDGsに貢献する 国際的な政策研究・教育の拠点

政策及び政策の革新にかかわる研究と教育を通して、我が国及び世界の民主的統治と高度化に貢献するというビジョンのもと、政策に関する研究・教育の両面において卓越した拠点となることを目指す大学院大学です。職員はフレックスタイム制をとっており働きやすい職場です。積極性・柔軟性・創造力をバランス良く備えた人材を求めています。一緒に大学を作っていきましょう!

■〒106-8677
東京都港区六本木7-22-1
■組織マネジメント課
☎ 03-6439-6019
■全教職員数(常勤)135名
(うち 事務職員61名、
図書職員3名)



20



国立大学法人 横浜国立大学

Initiative for Global Arts & Sciences

— グローバルな学術の共創 —

本学は、現実の社会との関わりを重視する「実践性」、新しい試みを意欲的に推進する「先進性」、社会に大きく門戸を開く「開放性」、横浜から世界に向けて発信し、海外からも広く人材を受け入れる「国際性」を掲げ、信頼と連帯を念頭に、教職員が一体となって自らが活力と自立的な大学としてさらに発展するべく改革を進めています。

私たちと一緒に未来の横浜国立大学を創っていきましょう。

■〒240-8501
神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤
台79番1号
■総務企画部人事・労務課任用係
☎ 045-339-3022
■全教職員数(常勤)987名
(うち 事務職員250名、
図書職員10名、技術職員44名)



21



国立大学法人 総合研究大学院大学

神奈川県葉山で世界トップレベルの研究と教育を支えています

本学は学術研究の新しい流れに対応できる視野の広い創造性豊かな研究者を養成することを目的に、日本初の学部をもたない博士課程だけの「大学院大学」として設立され、日本の優れた人材と研究環境を有する大学共同利用機関等との緊密な連携・協力のもと運営されている独創的な大学です。学生は葉山キャンパスのほか各地の大学共同利用機関等で日々、勉強・研究に励んでいます。

■〒240-0193
神奈川県三浦郡葉山町
(湘南国際村)
■総務課人事係
☎ 046-858-1510
全教職員数(常勤)56名
(うち 事務職員41名、
図書職員1名)



22



国立大学法人 新潟大学

私が支えたい大学は、新潟を支えている

新潟大学は自律と創生を理念とし、教育と研究及び社会貢献を通じて、世界の平和と発展に寄与することを目的としています。本学では、プロフェッショナルとして主体的に組織運営の企画・立案・実行を担う人材を求めています。大規模総合大学である本学だからこそ、周囲と連携しつつ、多様な業務経験の中で自己を高めることができます。自然きらめくキャンパスで、あなたの力を発揮してみませんか?

■〒950-2181
新潟県新潟市西区五十嵐二の町
8050番地
■総務部人事企画課人事係
☎ 025-262-7615
■全教職員数(常勤)3,166名
(うち 事務職員408名、
図書職員14名、技術職員111名)



23



国立大学法人 長岡技術科学大学

技術で未踏領域へ挑戦する ~Innovate with Technology~

長岡技術科学大学は、指導的技術者を養成することを理念とする大学院に重点を置いた大学です。持続可能な開発目標(SDGs)のハブ大学に東アジアから唯一任命され、革新的な取組の模範として高い評価を受けています。

本学は教職員間の距離が近く、若手職員も企画・運営に参画できるやりがいを感じることが出来ます。私たちと未来社会を築くグローバル技術者を育てていきましょう!

■〒940-2188
新潟県長岡市上高岡町1603-1
■総務部総務課人事労務室人事係
☎ 0258-47-9205
■全教職員数(常勤)343名
(うち 事務職員109名、
図書職員2名、技術職員33名)





24



国立大学法人 上越教育大学

ぜったい先生になりたい人と先生のための大学!

上越教育大学は、初等教育教員の養成と教員の更なる資質能力の向上を主目的とした教育大学です。小規模な大学のため、教職員間の距離が近く、アットホームで和やかな雰囲気職場です。①コミュニケーションを大切に、②意欲的に業務に取り組む③明るく元気な方を求めています。『未来を担う子ども達のための教員を育てる』上越教育大学を私たちと一緒に更に素晴らしい大学にしていきたいと思います。

■〒943-8512
新潟県上越市山屋敷町1番地
■総務課人事・労務チーム
☎ 025-521-3217・3218
■全教職員数(常勤)300名
(うち 事務職員90名、
図書職員4名、技術職員6名)



25



国立大学法人 山梨大学

地域の中核、世界の人材

山梨大学は教育・医・工・生命環境の4つの学部と大学院からなる、山梨県唯一の国立大学で、専門分野に特化したセンター等での先端的な研究活動を行っています。組織が小規模な分、意思決定が早く、組織の隅々まで活性化している元気のある大学です。若手職員も協働して企画にかかわり、それぞれの力を発揮しています。山梨大学の未来をともに創っていきましょう。

■〒400-8510
山梨県甲府市武田4-4-37
■総務部人事課任用・事務グループ
☎ 055-220-8742・8008
■全教職員数(常勤)2,001名
(うち 事務職員262名、
図書職員6名、技術職員79名)



26



国立大学法人 信州大学

信州の「知の森」を、ともに

緑豊かな信州に5つのキャンパスを有した信州大学は、地域社会や産業界と連動した活動を積極的に展開し、地域貢献度調査2019では1位に。先鋭領域融合研究群を中心に世界的な教育研究を行うとともに、多分野にわたる全国的な教育研究拠点として活動をし、「最も学んでみたい大学」を目指しています。
信州大学を愛し、大学のステップアップにご尽力いただける方をお待ちしています。

■〒390-8621
長野県松本市旭3-1-1
■総務部人事課人事総務グループ
☎ 0263-37-2041
■全教職員数(常勤)2,670名
(うち 事務職員433名、
図書職員25名、技術職員84名)



27



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構事務局

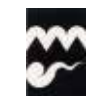
人間文化の総合的学術研究の国際的拠点へ —「多様で一体」をスローガンに—

研究者の自由な発想による先端的な研究活動には、機構を運営し、研究を支援する事務系職員の存在が欠かせません。人文機構本部事務局では、機構全体の総務、広報、法人評価、研究支援、財務及び施設等に関する業務を行うとともに、機構を構成する6機関の総括・調整を行っています。6機関の架け橋として「多様で一体」をスローガンとする本機構の一員として、あなたの能力を発揮してみませんか。

■〒105-0001
東京都港区虎ノ門4-3-13
ヒューリック神谷町ビル2F
■総務課人事係
☎ 03-6402-9215~7
■全教職員数(常勤)67名
(うち 事務職員26名、
技術職員4名)



28



大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館

『歴博』は、日本の歴史と文化を巡る時間旅行のお手伝いをしています。

国立の唯一の歴史民俗系博物館でもある本館(通称『歴博』)は、文献史学・考古学・民俗学および自然科学を含む関連諸科学の協業によって、大学をはじめとする国内外の研究者とともに、学際的で先進的な研究を推進する大学共同利用機関です。歴博内はもちろん、人間文化研究機構事務局や他機関ともコミュニケーションをとりながら緊密に連携していただけるような、視野の広い人材を求めています。

■〒285-8502
千葉県佐倉市城内町117
■管理部総務課人事係
☎ 043-486-6472
■全教職員数(常勤)87名
(うち 事務職員46名)



29



大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国文学研究資料館

世界でトップの日本文学研究拠点

当館は、日本文学に関する文献等資料の調査研究、収集、整理、保存等を行っており、集積した資料は国内外の研究者及び利用者の方々に提供しています。
また、大規模画像データベースの構築等のプロジェクトに加え、展示、講演会、シンポジウム等様々な事業を行うほか、大学院教育にも携わっています。
各業務に係る次なる目標に向け積極的に取り組む意欲ある方をお待ちしています。

■〒190-0014
東京都立川市緑町10-3
■管理部総務課人事係
☎ 050-5533-2908・2909
■全教職員数(常勤)71名
(うち 事務職員31名、
図書職員10名、技術職員1名)





30



大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国立国語研究所

「コトバ」を研究し、豊かな社会づくりに貢献する
～日本語の研究推進・情報発信～

国語研は、日本語学・言語学・日本語教育研究の国際的・中核的拠点として、日本語の特質を解明しようとしている研究所です。世界中の言語の一つとしての日本語研究を通して、日本語を未来へ継承・発展させていこうとしています。そのために国内外の研究者と共同研究を実施し、研究成果を学術資料やデータベース等で広く提供しています。あなたも「コトバ」を未来につなぐ仕事に携わってみませんか。

■〒190-8561
東京都立川市緑町10-2
■管理部総務課人事係
☎ 042-540-4376
■全教職員数(常勤)58名
(うち 事務職員19名、
図書職員2名、技術職員4名)



31



大学共同利用機関法人 自然科学研究機構事務局

～宇宙・生命・物質・エネルギー～ 自然科学研究分野の最先端を牽引!

自然科学研究機構(NINS)には、5つの大学共同利用機関(国立天文台、核融合科学研究所、基礎生物学研究所、生理学研究所、分子科学研究所)があり、自然科学研究の最先端を牽引し、各分野とその垣根を越えた共同利用・共同研究の促進と、国際共同研究拠点としての中核を担っています。幅広い視野を持ち、時代や社会の変化に柔軟に対応できる方、ぜひその力を機構で発揮してみませんか!

■〒105-0001
東京都港区虎ノ門4-3-13
ヒューリック神谷町ビル2階
■事務局総務課人事係
☎ 03-5425-2035
■全職員数(常勤)28名
(うち 事務職員28名)



32



大学共同利用機関法人自然科学研究機構 国立天文台

夜空に輝く星の瞬き 遠い宇宙、過去からの微かな光
未来を照らす確かな光

国立天文台は、すばる望遠鏡やアルマ望遠鏡を筆頭に、世界最先端の観測装置を有する天文学のナショナルセンターです。大学共同利用機関として、観測・研究・開発を推進し、国内に留まらず、国際協力のもと天文学および関連分野の発展のために活動しています。天文学の専門知識は問いません。これら活動を支え導く職員として、みなさんの持つ積極性、柔軟な発想と広い視野を活かしてみませんか。

■〒181-8588
東京都三鷹市大沢2丁目21番1号
■事務部総務課人事係
☎ 0422-34-3657
■全教職員数(常勤)394名
(うち 事務職員54名、
図書職員1名、技術職員40名)



33



大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構

“知りたい”が加速する — 宇宙・物質・生命の謎を解く —

高エネルギー加速器研究機構(KEK)は、最先端の大型粒子加速器を用いた加速器科学の総合的発展の拠点として、宇宙の起源、物質や生命の根源の探求を目指す研究所です。また、1971年に大学共同利用機関第一号として設立以来、約50年にわたり国内外の研究者に対して研究の場を提供し、基礎科学を推進しています。

あなたも最先端の研究所で世界に誇れる仕事をしていませんか。

■〒305-0801
茨城県つくば市大穂1-1
■総務部人事労務課人事第二係
☎ 029-864-5117
■全教職員数(常勤)620名
(うち 事務職員153名、
技術職員140名)



34



大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

あなたの支える研究が世界を変える

情報・システム研究機構は、生命・地球・環境・社会などに関わる複雑な問題を情報とシステムという観点からとらえ、実験や観測による大量情報の生成、データベース構築、さらにそこからの知識の抽出と活用に関する研究を行うとともに、その研究基盤を大学等の研究者に提供・支援します。日本全体の学術研究を推進すること、それを目指して、日々、真剣に仕事に励む人達がいます。

■〒105-0001
東京都港区虎ノ門4-3-13
ヒューリック神谷町ビル2階
■本部事務局総務課人事・労務係
☎ 03-6402-6209
■全教職員数(常勤)35名
(うち 事務職員28名、
技術職員1名)



35



大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立極地研究所

極地観測と極域科学研究を総合的に行う日本唯一の研究機関

国立極地研究所は、極地に関する科学の総合研究と極地観測を行うことを目的に1973年に設置された大学共同利用機関です。南極・北極に有する観測基地におけるフィールド観測を基盤に、資・試料の分析、データ解析、モデリングを通じ地球科学、環境科学、太陽系地球科学、宇宙・惑星科学、生物科学などを包括した先進的総合地球システム科学を共同研究として推進しています。

■〒190-8518
東京都立川市緑町10-3
■情報・システム研究機構
本部事務局総務課人事・労務係
☎ 03-6402-6209
■全教職員数(常勤)181名
(うち 事務職員65名、
図書職員2名、技術職員20名)
(事務職員43名、技術職員1名は
統計数理研究所と共通)





36 NII 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立情報学研究所

人と社会をつなぐ情報学—

活気あふれる若い力が見つめているのは情報社会の未来です。

国立情報学研究所(NII)は日本で唯一の情報学の学術総合研究所として、長期的な視点に立つ基礎研究から社会課題の解決を目指した実践的研究まで、総合的に研究を推進しています。同時に、大学共同利用機関として、学術コミュニティ全体の研究・教育活動に必須となる最先端の学術情報基盤や学術コンテンツ、および、サービスの提供といった事業を展開しています。

■〒101-8430
東京都千代田区一ツ橋2-1-2
学術総合センタービル
■情報・システム研究機構
本部事務部総務課人事・労務係
☎ 03-6402-6209
■全教職員数(常勤)262名
(うち 事務職員61名、
図書職員10名、技術職員31名)



37 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 統計数理研究所

知を結ぶ最先端科学「統計数理」に関する日本唯一の研究教育機関

統計数理研究所は、昭和19年に設立されて以来、日本における統計数理研究の中心的な機関として役割を果たしてきました。統計数理とは、データをもとに数理を道具として、合理的予測の実現を目的に、散在・偏在している様々な知識を「つなぐ」方法を研究する学問です。この特性を活かし、研究者、大学、産業と学術をつなぎ、学術と一般社会をつなぐことで、社会に貢献したいと考えています。

■〒190-8562
東京都立川市緑町10-3
■情報・システム研究機構
本部事務部総務課人事・労務係
☎ 03-6402-6209
■全教職員数(常勤)111名
(うち 事務職員46名、
図書職員2名、技術職員10名)
(事務職員43名、技術職員1名は
国立極地研究所と共通)



38 NISE 独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所

障害のある子ども一人一人のニーズに対応した教育の実現に貢献します

本研究所は、我が国唯一の特別支援教育のナショナルセンターです。特別支援教育に関する研究活動、教職員への研修事業、情報の収集・発信などの事業を行っています。事務職員は、総務、人事、会計、評価、研修事業の実施など、幅広い業務に携わります。何事にも意欲的に取り組み、他の職員と協力し合える方を求めています。障害のある子どもたちの未来のために私たちと一緒に働いてみませんか。

■〒239-8585
神奈川県横浜須賀野5-1-1
■総務部総務企画課人事係
☎ 046-839-6925
■全教職員数(常勤)70名
(うち 事務職員30名)



39 独立行政法人 大学入試センター

志願者数約55万人。日本で唯一の大規模試験を実施・運営しています。

大学入試センターは、「大学入学共通テストに関する業務等を行うことにより、大学入学者の選抜の改善を図り、もって大学及び高等学校等における教育の振興に資する」ことを目的としています。

志願者数約55万人の大学入学共通テスト(旧:大学入試センター試験)の実施と運営のため、私たちと一緒に情熱をもって取り組んでいただける方を文系・理系問わず求めています。

■〒153-8501
東京都目黒区駒場2-19-23
■総務部総務課人事・人材係
☎ 03-5478-1215
■全職員数(常勤)122名
(うち 事務職員106名、
技術職員1名)



40 独立行政法人 国立青少年教育振興機構

すべての青少年に、感動がもたらす未来を!

当機構は「体験活動を通じた青少年の自立」という目的を掲げ、平成18年4月に発足しました。青少年教育のナショナルセンターとして、全国28の教育施設にて特色のある活動を展開し、青少年教育の振興及び青少年の健全育成を図ることを目指しています。

我が国の青少年教育をリードする気概を持ち、課題意識に基づく向上心とチャレンジ精神を持って何事にも取り組める職員を求めています。

■〒151-0052
東京都渋谷区代々木神園町3番1号
■管理部人事課人事企画係
☎ 03-6407-7643
■全職員数(常勤)494名
(うち 事務職員488名、
技術職員4名)



41 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立赤城青少年交流の家

冒険と創造の森

国立赤城青少年交流の家は上毛三山(赤城山・榛名山・妙義山)の一つ赤城山南麓の標高530メートルに位置し、四季を通じて豊かな自然環境に恵まれ、体験と交流の場を提供することにより、共に学びあえる施設づくりに努めています。昭和46年の開所以来、赤城山の自然環境を活用した体験活動や研修活動をとおり、「青少年の自立」と「体験活動の普及」を目指します。

■〒371-0101
群馬県前橋市富士見町赤城山27
■総務係
☎ 027-289-7203
■全職員数(常勤)14名
(うち 事務職員14名)





42



独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立妙高青少年自然の家

豊かな体験活動を妙高で!!

国立妙高青少年自然の家のある妙高市は、例年3メートルを超える積雪がある豪雪地帯であり、四季折々の自然の恵みが豊かな地域です。自然の家で行う体験活動は、子供たちの自立に大きな役割を果たしています。私たち職員は、「チーム妙高」として地域の皆様と一緒に、年間約13万人の子供たちに豊かな体験活動を提供しています。次代を担う子供たちのために私たちと一緒に働いてみませんか。

〒949-2235
新潟県妙高市大字関山6323-2
■総務係
☎ 0255-82-4324
■全職員数(常勤)16名
(うち 事務職員16名)



43



独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立信州高遠青少年自然の家

「自然の豊かさを 見つけよう 考えよう 味わおう 楽しもう」

本施設は、壮大な南アルプスと中央アルプスの秀峰を望み、高遠コヒガンザクラと城下町で知られる伊那市高遠町の晴ヶ峰高原に所在しています。青少年をはじめとする施設利用者に対して、日常の生活では体験することができない非日常的な感動体験を通して、青少年の自立と体験活動の普及に取り組んでいます。

〒396-0301
長野県伊那市高遠町藤沢6877-11
■総務係
☎ 0265-96-2528
■全職員数(常勤)13名
(うち 事務職員13名)



44



独立行政法人 国立女性教育会館

我が国の男女共同参画ネットワークの中核—NVEC(ヌエック)

国立女性教育会館(NVEC)は、男女共同参画社会実現を目的とする推進機関です。海外と比較すると、我が国は、政策・意思決定過程への女性の参画が少なく、ジェンダー・ギャップ指数が153か国中121位であることや男性中心の働き方など課題が山積しており、目的の実現は未だ道半ばです。男女共同参画社会の実現を目指して、NVECと一緒に働いてみませんか。

〒355-0292
埼玉県比企郡嵐山町菅谷728
■総務課 人事・企画係
☎ 0493-62-6714
■全職員数(常勤)24名
(うち 事務職員5名、図書職員5名)



45



独立行政法人 国立科学博物館

1877年に創立された、自然史・科学技術史に関する 国立唯一の総合科学博物館

国立科学博物館は、自然科学及び社会教育の振興を図ることを目的として上野本館、筑波実験植物園、附属自然教育園を設置しています。事務職員は、総務・財務・研究支援などを担う管理部門、展示・学習支援・企業地域連携などを担う事業部門があり、幅広い業務に携わっています。シンボルマークのキャッチコピーである「想像力の入り口」となるべく、私たちと一緒に新しい科博を創っていきましょう。

〒110-8718
東京都台東区上野公園7-20
■経営管理部総務課
人事担当
☎ 03-5814-9816
■全職員数(常勤)138名
(うち 事務職員73名、技術職員2名)



46



国立研究開発法人 物質・材料研究機構

世界トップレベルの「材料」研究で生活の「明日」を創る 未来を拓く

人類の発展と共に進歩する材料。地球規模の環境・資源問題の解決手段の一つとしても近年注目されています。国立研究開発法人物質・材料研究機構(NIMS)は「明日を創る材料研究」をテーマに物質・材料分野で最先端の研究を行っています。研究機関の運営や環境作りを行う事務職の仕事を通じ研究と社会還元と一緒に貢献しませんか。多様な業務の中であなたに相応しいキャリアを見つけてください。

〒305-0047
茨城県つくば市千現1-2-1
■人材部門人事室
☎ 029-859-2472
■全職員数(常勤)556名
(うち 事務職員105名、技術職員67名)



47



国立研究開発法人 防災科学技術研究所

生きる、を支える科学技術 SCIENCE FOR RESILIENCE

国立研究開発法人防災科学技術研究所(防災科研)は、防災科学技術に関する基礎研究及び基盤的研究開発、それらに係る成果の普及ならびに活用の促進といった業務を総合的に行い、防災科学技術の向上を図り、その成果を防災対策へと反映させていくことによって、災害から人命を守り、災害の教訓を活かして発展を続ける災害に強い社会の実現を目指しています。

〒305-0006
茨城県つくば市天王台3-1
■総務部総務課
☎ 029-851-1611
■全職員数(常勤)330名
(うち 事務職員114名)





独立行政法人 国立美術館 48 東京国立近代美術館

49 国立映画アーカイブ 50 国立西洋美術館 51 国立新美術館

我が国における芸術文化の創造と発展、国民の美的感性の育成を目指して…

独立行政法人国立美術館は、美術振興の中心的拠点として、6つの美術館（関東甲信越地区は4館）を設置し、国内外の美術作品等を収集・保管・展示し、館ごとに個性豊かで多彩な活動を展開しています。採用後は、本部事務局あるいは6つの美術館のいずれかで、総務・人事・財務・会計、普及・研修などの業務に携わり、国立美術館の管理・運営の様々な角度へ活躍の場を広げることができます。

■〒102-8322
東京都千代田区北の丸公園3-1
■独立行政法人国立美術館
本部事務局人事担当係
（東京国立近代美術館
運営管理部門人事担当係）
☎ 03-3214-2583
（ダイヤルイン）
全教職員数（常勤）114名
（うち 事務職員54名、
技術職員1名）



52 東京国立博物館 独立行政法人国立文化財機構

日本の伝統と文化を未来へ、そして世界へ伝えたい

東京国立博物館は1872年（明治5年）に創設された日本初の博物館です。日本と東洋の美術・考古遺物を収集・保存・展示するほか、多くの方々にその美と文化、そして博物館に親しんでいただく機会の提供に努めています。

事務職員は、総務・人事・経理等他の国立大学法人等と同様の業務だけではなく、展示やイベント等に係わる博物館ならではの業務に就くこともあります。

■〒110-8712
東京都台東区上野公園13-9
■本部事務局総務企画課
（人事担当）
☎ 03-3822-1111
■全職員数（常勤）156名
（うち 事務職員58名、
技術職員7名）



53 東京文化財研究所 独立行政法人国立文化財機構

基礎的・実践的な調査研究による、
有形・無形の文化財の保存・修復・公開へ

東京文化財研究所は、国の文化財全般の調査研究や保存修復、文化遺産保護の国際協力を行う研究所です。1952（昭和27）年の創設以来、有形・無形文化財の基礎的・先端的な調査研究を進め、文化財保護行政を支える役割を果たしてきました。

当研究所は小規模ながら精鋭の職員を配し、日々の業務にあたっています。総務・会計・国際協力事業などの企画・渉外等の業務があります。

■〒110-8713
東京都台東区上野公園13-43
■研究支援推進部管理課総務係
☎ 03-3823-2244
■全職員数（常勤）43名
（うち 事務職員8名、
技術職員1名）



54 独立行政法人 教職員支援機構

全国の教職員の資質向上の総合的支援を行う全国拠点として

本機構は、全国の教職員の資質向上を目的とし、教職員に対する研修の実施、研修コンテンツ配信、研修プログラム開発などを行っています。また、教職員の資質向上に関する調査研究や、教職員の養成・採用・研修の全国拠点として大学や教育委員会等の学校教育関係機関を結ぶネットワークづくりなどに取り組んでいます。次代を担う子供たちの教育とよりよい未来社会の形成のために一緒に働きましょう。

■〒305-0802
茨城県つくば市原3番地
■本部事務局総務企画課人事係
☎ 029-879-6611
■全教職員数（常勤）35名
（うち 事務職員33名）



55 JAPAN SPORT COUNCIL 独立行政法人 日本スポーツ振興センター

未来を育てよう、スポーツの力で。

日本スポーツ振興センターは我が国におけるスポーツの振興と児童生徒等の健康の保持増進を図るための中核的専門機関です。スポーツが持つ価値を広く社会に還元し、かつ、丁寧な情報発信による事業の透明性確保に努めるとともに、環境変化に柔軟に対応できるしなやかさや挑戦する気概を持つ方を求めています。スポーツの力で元氣や感動、明日への力にあふれた限りない可能性のある未来を一緒に育てませんか。

■〒107-0061
東京都港区北青山2-8-35
■総務部人事課人事係
☎ 03-5410-9126
■全職員数（常勤）392名
（うち 事務系323名、
技術職員69名）



56 独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構

高等教育の質の向上と発展を支援しています。

当機構では、「評価事業」、「学位授与事業」、「質保証連携」、「施設費貸付・交付事業」という大学とは異なる事業内容でありながら、大学等と連携した業務に携わることができます。大学等の教育活動の課題や管理運営上の課題、国内外の高等教育の質の確保に向けた動向など、幅広い知識・経験を得ることが可能です。新たな視点・角度から意欲を持って取り組む皆さんの応募をお待ちしています。

■〒187-8587
東京都小平市学園西町1-29-1
■管理部総務企画課人事第1係
☎ 042-307-1514
■全教職員数（常勤）187名
（うち 事務職員168名）





57

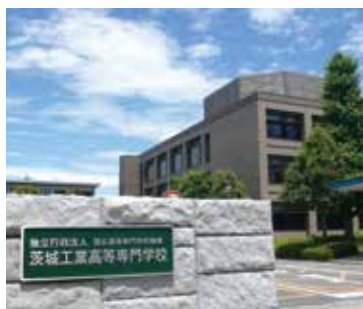


独立行政法人 国立高等専門学校機構本部事務局

情熱ある若者が未来を創造する実践的技術者に成長するまでサポート

高等専門学校は、実践的・創造的技術者を養成するため、中学卒業後から5年間の一貫教育を行う高等教育機関です。機構本部事務局は、全国51の国立高専の「舵取り役」「縁の下の力持ち」として企画・管理業務を行い、約5万人の学生・約6千人の教職員を支える重要な役割を担う組織です。「高専・学生のために何ができるか」を考え行動できる方と一緒に高専の未来を創ってきたいと思っています。

■〒193-0834
東京都八王子市東浅川町701-2
■人事課人事係
☎ 042-662-3158
■全教職員数(常勤)135名
(うち 事務系93名、
技術職員20名)



58



独立行政法人国立高等専門学校機構 茨城工業高等専門学校

進化する創造力 世界で活躍し世界に貢献できるグローバル・エンジニアの育成を目指して

現在、多くの産業活動が世界規模で展開される中、技術の発展と展開には地球規模の考え方が必要となってきています。これらは重要な社会的要請となり、技術に関わる人材としてグローバルな感覚を持った技術者や研究者が求められています。

本校は、すでに国際的に活躍する人材を輩出するプログラムを実施し、これからの技術分野において地球規模で活躍する人材を育成していきます。

■〒312-8508
茨城県ひたちなか市中根866
■総務課人事・労務係
☎ 029-271-2808
全教職員数(常勤)113名
(うち 事務職員28名、
技術職員13名)



59



独立行政法人国立高等専門学校機構 小山工業高等専門学校

ひとをつくり、ものをつくり、社会とつなげよう

高専は、教育現場であり、地域社会における研究拠点でもあります。その中で関わる職員や教員、学生、企業の方々等様々な人と積極的にコミュニケーションを取りながら、一緒に魅力ある学校作りに携わってみませんか。

【求める人物像】

- 現状に満足せず、より良い姿に変えるため日々改善・改革を実行できる人
- 困難な状況においても、忍耐強く課題に取り組むことができる人

■〒323-0806
栃木県小山市大字中久喜771
■総務課総務係
☎ 0285-20-2116
■全教職員数(常勤)115名
(うち 事務職員32名、
技術職員11名)



60



独立行政法人国立高等専門学校機構 群馬工業高等専門学校

ものづくりの夢と希望を持った学生達のお手伝いを一緒にしませんか!

本校は、5学科(機械、電子メディア、電子情報、物質、環境都市)、2専攻科(生産システム、環境)を設け、視野の広い創造的な技術者を育成しています。

事務職員は総務課と学生課に、技術職員は教育研究支援センターに配置され、学校運営等に携わっています。ものづくりの夢と希望を持った学生達の夢の実現に向けて、活気あふれる学校を一緒に作りましょう。

■〒371-8530
群馬県前橋市鳥羽町580
■総務課人事係
☎ 027-254-9010
■全教職員数(常勤)113名
(うち 事務職員26名、
図書職員1名、技術職員15名)



61



独立行政法人国立高等専門学校機構 木更津工業高等専門学校

日本の未来を支える、若き力。 それを支えるのは、あなたです。

【求める人物像】

- 広い視野で、様々なことに積極的に取り組める方
- 学生に近いフレッシュな感覚を活かし、活気のある学校づくりに協力してくれる方
- 明るく、熱意をもって仕事に取り組める方

本校は、教職員の距離が非常に近く、風通しの良い職場です。さらに活気のある学校にするため、あなたの力を貸してください。是非、一緒に働きましょう!

■〒292-0041
千葉県木更津市清見台東2-11-1
■総務課人事・労務係
☎ 0438-30-4007
■全教職員数(常勤)118名
(うち 事務職員30名、
技術職員13名)



62



独立行政法人国立高等専門学校機構 東京工業高等専門学校

ユニークな教育機関で働いてみませんか?

高専は15歳から5年間一貫教育を行うユニークな高等教育機関で、卒業生の就職率はほぼ100%となっており、産業界から高い評価を受けています。大学とは異なり、一人ひとりの携わる仕事が幅広いため、早くから多くの知識や経験を身につけることができる職場です。駅徒歩5分の都市型高専から、エンジニアが羽ばたく瞬間を共有しませんか?主体的に考え実行できる方の応募をお待ちしています。

■〒193-0997
東京都八王子市桐田町1220-2
■総務課人事労務係
☎ 042-668-5115
■全教職員数(常勤)115名
(うち 事務職員33名、
技術職員14名)





63



独立行政法人国立高等専門学校機構
長岡工業高等専門学校

人類の未来をきりひらく、
感性ゆたかで実践力のある創造的技術者の育成

本校は、新潟県下第2位の人口を擁する長岡市に位置し、桜の名所として知られる悠久山公園に隣接する風光明媚な高台にあります。国立高等専門学校の第1期校として設置され、50年以上の歴史と実績を持っています。本校の教育理念「人類の未来をきりひらく、感性ゆたかで実践力のある創造的技術者の育成」のため、学生や教員の力になりたい、そんな意欲的なあなたの力を待っています。

■〒940-8532
新潟県長岡市西片貝町888番地
■総務課人事係
☎ 0258-34-9313
■全教職員数(常勤)116名
(うち 事務職員29名、
技術職員14名)



64



独立行政法人国立高等専門学校機構
長野工業高等専門学校

優れた技術者は、優れた人間でなければならない

本校は、実践的技術者の養成を目的に設立された国立高専の一つとして昭和38年(1963年)に開校した。職員の組織は、事務部(総務課、学生課)及び技術支援部から構成され、本校が目指す教育理念の実現に向けて、学校運営に携わっています。

幅広い視点で考えて、責任感を持った仕事ができる環境です。そのような高専の仕事に対して、意欲的で向上心溢た方をお待ちしております。

■〒381-8550
長野県長野市大字徳間716
■総務課人事係
☎ 026-295-7004
■全教職員数(常勤)116名
(うち 事務職員29名、
技術職員13名)



65



特別な学校法人
放送大学学園

全ての人に開かれた、日本随一の生涯学習機関

「放送大学学園」に基づく特別な学校法人です。学園が設置する放送大学は、学びたい全ての人に開かれた生涯学習機関です。テレビ・ラジオ・インターネットを利用した遠隔授業、全国各地で行う面接授業等、場所や時間を問わない多様な教育方法により、学びの機会を提供しています。職員には、中長期的な視点に立つて経営を担うことが求められ、やりがいのある仕事を任される機会が多くあります。

■〒261-8586
千葉県千葉市美浜区若葉2-11
■総務部総務課人事係
☎ 043-298-4210
■全教職員数(常勤)342名
(うち 事務職員249名)



よくある質問

Q1

引越しを伴う異動、
他機関での勤務はありますか？

A1

原則、採用された機関での勤務となります。県内各地にキャンパスを持っている機関などでは、異動の際に引越しが必要になる可能性はあります。また、人事交流により、他機関で勤務することもあります。

Q2

年齢や学歴、既卒か新卒かで、
採用にあたって有利・不利はありますか？
また、従事できる職種に違いはありますか？

A2

年齢や学歴、既卒・新卒による有利・不利はありません。また、従事できる職種に違いはありません。

Q3

第二次試験(面接審査等)は
1つの機関しか
受けられないのですか？

A3

第二次試験は、日程が重複しない限り複数の機関を受験できます。ただし、スケジュール等をよく確認し、受験日の変更等がないようにしてください。また、第二次試験合格に対する応諾をできる機関は1つです。

上記以外にも、採用試験事務局HPにてよくある質問へのQ&Aを掲載しています！

全国の国立大学法人等職員採用試験について

国立大学法人等職員採用試験は、地区ごとに職員採用試験を実施しています。
各地区の詳細については、それぞれのHPでご確認ください。



北海道地区（採用試験事務局）

TEL 011-706-2019



東北地区（採用試験事務局）

TEL 022-217-5676



近畿地区（採用試験事務局）

TEL 075-753-2230



関東甲信越地区（採用試験事務局）

TEL 03-5841-2768 ~ 2770



東海・北陸地区（採用試験事務局）

TEL 052-788-6053 ~ 6054



中国・四国地区（採用試験事務局）

TEL 082-424-5616



九州地区（採用試験事務局）

TEL 092-802-2340

編集・発行

関東甲信越地区

国立大学法人等職員採用試験事務局

〒113-8654 東京都文京区本郷7-3-1（東京大学本部内）

TEL 03-5841-2768~2770

<http://ssj.adm.u-tokyo.ac.jp/>